

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	橋尾真奈美
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで 主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワー ク力」を理解する。 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点□						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う・学校のルール	配布プリントを記入し次回提出
2		講義・演習	グループワーク:友達づくり	配布プリントを記入し次回提出
3		講義・演習	「主体性」:状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義・演習	「計画力」:起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
5		講義・演習	力を学ぶ スペシャリストになるために	配布プリントを記入し次回提出
6		講義・演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義・演習	プロとしての言葉遣いやマナーを学ぶ メールマナー・電話マナー	配布プリントを記入し次回提出
8		講義・演習	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義・演習	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10		講義・演習	「計画力」:計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		講義・演習	「実行力」:目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義・演習	「課題発見力」:今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義・演習	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
15		講義・演習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	橋尾真奈美
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 1年次後期では滋慶学園グループが必修で行っている「コミュニケーションスキルアップ検定」の問題内容を基に人間教育を行う。 また、キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。 コミュニケーションスキルアップ検定の合格。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点□						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える	配布プリントを記入し次回提出
2		講義・演習	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		講義・演習	「働きかけ力」:自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4		講義・演習	「創造力」:新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5		講義・演習	グループワーク:業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する/履歴書	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6		講義・演習	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7		講義・演習	自己理解 自己PR/プロフィールシート作成 <自己PR・趣味特技> <専門分野・関心事>	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8		講義・演習	社会人準備 ① マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9		講義・演習	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則+α」を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
10		講義・演習	社会人準備 ③ 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則+α」を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		講義・演習	社会人準備 ④ 社会保険や税の仕組みなどを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義・演習	社会人準備 ⑤ 社会人の基礎を身につける	配布プリントを記入し次回提出
13		講義・演習	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14		講義・演習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	橋尾真奈美
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行 動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チーム ワーク力」を理解する。 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点口						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義・演習	「主体性」: 状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		講義・演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義・演習	「傾聴力」: 人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義・演習	「発信力」: 伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		講義・演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義・演習	プロとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義・演習	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義・演習	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義・演習	「計画力」: 計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		講義・演習	「実行力」: 目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義・演習	「課題発見力」: 今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義・演習	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
15		講義・演習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	橋尾真奈美
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動 できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワー ク力」を理解する。 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点口						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	合同企業説明会を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出
2		講義・演習	「チームワーク力」:現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3		講義・演習	「働きかけ力」:自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4		講義・演習	「創造力」:新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5		講義・演習	ジョブカードを用い、職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6		講義・演習	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7		講義・演習	【履歴書の書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8		講義・演習	【履歴書の書き方】ジョブカード作成内、自分の長所・短所が伝えられるようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9		講義・演習	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
10		講義・演習	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
11		講義・演習	SMBCファイナンスの方をお招きし、マネー講座を開催、社会人になった時に掛かるお金について学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義・演習	社会に出る際のビジネスマナー・身なり・挨拶の大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義・演習	社会に出る際のビジネスマナー・メールのやり取り・座席位置	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14		講義・演習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
15		講義・演習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	コンサートテクニック(1) (チーム制作プロジェクトA(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岡秀樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンターティメントの発信地である「渋谷」を拠点に活動しているライブハウスや音楽施設を知り、企業とプロジェクトを組み、生きたイベント企画・制作・運営・プロモーションを学ぶ。 即戦力になる人材育成に向け実践力を身につける。						
到達目標	精度の高い企画書、実施要項、運営マニュアル、プロモーションプランを学生主体で作成できるようにする。 イベント企画では、「独創的な企画を提案できる」こと、制作では「人・もの・お金・時間を管理」できること、運営では「進行を管理することができ、安心・安全な運営を円滑に行う」ことができること、プロモーションでは「既成概念に捉われること無く、自分たちに何ができるかを徹底的に追求し、時代に沿ったプロモーションを提案し実行」することを目指す。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価 30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価 40% メール等のレスポンスの速さ、丁寧さ、プロモーション実行具合を評価30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新年度オリエンテーションの実施 (アイスブレイク、ブレインストーミング、映像鑑賞を終えての討論)	クラスでのコミュニケーションの振り返り
2		講義・演習	コンサートの企画・制作・運営の考え方を学び、2年生が運営・制作を行う新入生歓迎ライブを見学する。	新入生歓迎ライブ出演者プロフィール把握、ステージセット把握
3		講義・演習	エンターティメント施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べる
4		講義・演習	エンターティメント施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究
5		講義・演習	エンターティメント施設取材③(取材内容、取材方法を検討)	各自インタビュー記事の研究
6		講義・演習	エンターティメント施設取材④(プレゼンテーション準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表の作成
7		講義・演習	エンターティメント施設取材⑤(プレゼンテーション実施/報告書の作成)	班員にて発表シミュレーション
8		講義・演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容の説明・企業を紹介・担当者自己紹介)	エンターティメント取材報告書完成・提出
9		講義・演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	企業研究(歴史、理念、業務内容)
10		講義・演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書:プロモーションプランの作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11		講義・演習	企業プロジェクト④(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	プロモーションスケジュール作成、運営マニュアルラフ作成
12		講義・演習	企業プロジェクト⑤(イベント当日の運営・制作を実践)□	運営マニュアルの読み合わせ
13		講義・演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(1) (チーム制作プロジェクトB(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンターティメントの発信地である「渋谷」を拠点に活動しているライブハウスや音楽施設を知り、企業とプロジェクトを組み、生きたイベント企画・制作・運営・プロモーションを学ぶ。 即戦力になる人材育成に向け実践力を身につける。						
到達目標	精度の高い企画書、実施要項、運営マニュアル、プロモーションプランを学生主体で作成できるようにする。 イベント企画では、「独創的な企画を提案できる」こと、制作では「人・もの・お金・時間を管理」できること、運営では「進行を管理することができ、安心・安全な運営を円滑に行う」ことができること、プロモーションでは「既成概念に捉われることなく、自分たちに何が出来るかを徹底的に追求し、時代に沿ったプロモーションを提案し実行」することを目標とする。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価 30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価 40% メール等のレスポンスの速さ、丁寧さ、プロモーション実行具合を評価30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新年度オリエンテーションの実施 (アイスブレイク、プレインストロミング、映像鑑賞を終えての討論)	クラスでのコミュニケーションの振り返り
2		講義・演習	コンサートの企画・制作・運営の考え方を学び、2年生が運営・制作を行う新入生歓迎ライブを見学する。	新入生歓迎ライブ出演者プロフィール把握、ステージセット把握
3		講義・演習	エンターティメント施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べる
4		講義・演習	エンターティメント施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究
5		講義・演習	エンターティメント施設取材③(取材内容、取材方法を検討)	各自インタビュー記事の研究
6		講義・演習	エンターティメント施設取材④(プレゼンテーション準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表の作成
7		講義・演習	エンターティメント施設取材⑤(プレゼンテーション実施/報告書の作成)	班員にて発表シミュレーション
8		講義・演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容の説明・企業を紹介・担当者自己紹介)	エンターティメント取材報告書完成・提出
9		講義・演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	企業研究(歴史、理念、業務内容)
10		講義・演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書:プロモーションプランの作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11		講義・演習	企業プロジェクト④(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	プロモーションスケジュール作成、運営マニュアルラフ作成
12		講義・演習	企業プロジェクト⑤(イベント当日の運営・制作を実践)口	運営マニュアルの読み合わせ
13		講義・演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(1) (チーム制作プロジェクトC(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大島直子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を学習する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験学習する						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されても対応できる基礎知識を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施時における様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要なレベルの実務力を習得する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プロジェクトの進め方の概要説明	プロフィールシートの作成
2		講義・演習	ライブイベント実施に向けて(打合せ)を学ぶ	打合せ準備資料の作成
3		講義・演習	ライブイベント実施[CIVILIAN]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
4		講義・演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
5		講義・演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]1st・[QUEENS]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
6		講義・演習	ライブイベントを記録する(映像収録とWEB)の制作を学ぶ	ライブ映像の編集処理
7		講義・演習	各ライブイベント実施に向けて(打合せ)を学ぶ	運営マニュアルの作成
8		講義・演習	各ライブイベント実施に向けて(打合せ)を学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
9		講義・演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
10		講義・演習	ライブイベント実施[QUEENS]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
11		講義・演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
12		講義・演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
13		講義・演習	ライブイベント実施[Pro Musician FES]現場での動きを学ぶ	運営マニュアルの作成・読み合わせ
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(2) (チーム制作プロジェクトA(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岡秀樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	企業とプロジェクトを組み、イベント企画・制作・運営・プロモーションを、アクティブラーニングによる主体的な学びをゼミ方式で実践する。						
到達目標	企業プロジェクトでは動員や収益など内容だけでなく収支にも着目し、数字をクリアするための方法論を検討し実践する。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価 30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価 40% 収支を測る方法論を理解し、現場での実行力を評価 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	企業プロジェクト①(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	前年度のプロジェクト内容を把握し資料として提出する。
2		講義・演習	企業プロジェクト②(プロジェクト企画書/プロモーションプランの作成)	企画書作成に必要な情報集め(アーティスト情報、アー写など)、SNS配信予定表を提出する。
3		講義・演習	企業プロジェクト③(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	運営マニュアルに必要な情報を提出する。(図面、セット図、セットリストなど)
4		講義・演習	企業プロジェクト④(イベント当日の運営)	運営マニュアル読み込み各メンバーで打ち合わせ
5		講義・演習	企業プロジェクト⑤(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ提出。企業への御礼文送信。
6		講義・演習	自主企画①(班分け/アイデアフラッシュ)	A4 1枚に提案したいイベント内容をまとめて提出。
7		講義・演習	自主企画②(コンセプト決め/企画書作成)	A4 で出演者向けに企画書を作成し提出。
8		講義・演習	自主企画③(ブッキング/実施要綱/プロモーションプラン作成)	ブッキング用メール文の作成。プロモーション先リストを作成する。
9		講義・演習	自主企画④(プロモーションツール/運営マニュアル作成)	印刷業者・グッズ製作会社調べ、運営マニュアルに必要な情報を集める(図面、セット図、セットリストなど)
10		講義・演習	自主企画⑤(顔合わせ兼打ち合わせ)	各セクション問題無く進められるように懸念点や疑問点を洗い出しておく。
11		講義・演習	自主企画⑥(運営シミュレーション)口	備品が揃っているか確認し、足りないものは購入する。
12		講義・演習	自主企画⑦(イベント当日の運営)	運営マニュアル読み込み各メンバーで打ち合わせ
13		講義・演習	自主企画⑧(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ、御礼文送信
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(2) (チーム制作プロジェクトB(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	企業とプロジェクトを組み、イベント企画・制作・運営・プロモーションを、アクティブラーニングによる主体的な学びをゼミ方式で実践する。						
到達目標	企業プロジェクトでは動員や収益など内容だけでなく収支にも着目し、数字をクリアするための方法論を検討し実践する。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価 30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価 40% 収支を測る方法論を理解し、現場での実行力を評価 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	企業プロジェクト①(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	前年度のプロジェクト内容を把握し資料として提出する。
2		講義・演習	企業プロジェクト②(プロジェクト企画書/プロモーションプランの作成)	企画書作成に必要な情報集め(アーティスト情報、アー写など)、SNS配信予定表を提出する。
3		講義・演習	企業プロジェクト③(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	運営マニュアルに必要な情報を提出する。(図面、セット図、セットリストなど)
4		講義・演習	企業プロジェクト④(イベント当日の運営)	運営マニュアル読み込み各メンバーで打ち合わせ
5		講義・演習	企業プロジェクト⑤(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ提出。企業への御礼文送信。
6		講義・演習	自主企画①(班分け/アイデアフラッシュ)	A4 1枚に提案したいイベント内容をまとめて提出。
7		講義・演習	自主企画②(コンセプト決め/企画書作成)	A4 で出演者向けに企画書を作成し提出。
8		講義・演習	自主企画③(ブッキング/実施要綱/プロモーションプラン作成)	ブッキング用メール文の作成。プロモーション先リストを作成する。
9		講義・演習	自主企画④(プロモーションツール/運営マニュアル作成)	印刷業者・グッズ製作会社調べ、運営マニュアルに必要な情報を集める(図面、セット図、セットリストなど)
10		講義・演習	自主企画⑤(顔合わせ兼打ち合わせ)	各セクション問題無く進められるように懸念点や疑問点を洗い出しておく。
11		講義・演習	自主企画⑥(運営シミュレーション)口	備品が揃っているか確認し、足りないものは購入する。
12		講義・演習	自主企画⑦(イベント当日の運営)	運営マニュアル読み込み各メンバーで打ち合わせ
13		講義・演習	自主企画⑧(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ、御礼文送信
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(2) (チーム制作プロジェクトC(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大島直子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を学習する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験学習する						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されても対応できる基礎知識を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施時における様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要なレベルの実務力を習得する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新年度オリエンテーション(アイスブレイク、ブレインストーミング、映像鑑賞、討論)	新入生歓迎ライブの打ち合わせ
2		講義・演習	新入生歓迎ライブの運営・制作。	運営マニュアルの事前読み合わせ
3		講義・演習	エンタメ施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べて提出
4		講義・演習	エンタメ施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究を行い資料として提出
5		講義・演習	エンタメ施設取材③(取材内容、取材方法検討)	インタビュー記事を研究し、インタビュー内容を提出
6		講義・演習	エンタメ施設取材④(プレゼン準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表を作成し提出
7		講義・演習	エンタメ施設取材⑤(プレゼンテーション/報告書作成)	班員にて発表シミュレーションを行う
8		講義・演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容説明、企業紹介、担当者自己紹介)	エンタメ取材報告書を作成し提出する
9		講義・演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	関わる企業を研究(歴史、理念、業務内容)し、資料として提出
10		講義・演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書:プロモーションプラン作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11		講義・演習	企業プロジェクト④(プロモーション実践/運営マニュアル作成)	プロモーションスケジュールを作成、運営マニュアルラフ作成
12		講義・演習	企業プロジェクト⑤(イベント当日の運営を実践)□	運営マニュアルの事前読み合わせ
13		講義・演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書作成)	報告会で発表する内容まとめ
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Foundation (1) (Digital Foundation A (1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤 淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンターテインメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。パソコンの理解度の向上とソフトウェアのスキルの向上を目的に、現場で役立つことに特化して学んでいきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 (1)Adobe Illustratorの基本的な使い方 (2)DTPの基本的な解釈と留意点 (3)デザイン的な創作の解釈と留意点						
評価方法と基準	1. データーレポート提出(%) : 50% 2. 授業内課題(%) : 50%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	【Illustrator】基本知識と機能を理解し、等級表を作成する	基礎の仕組みを覚え、慣れておくことを目標に提示した課題の表を作成する。	
2		講義・演習	【Illustrator】名刺作成を課題に、表示・オブジェクト・テキスト入力を理解する	名刺に関するビジネスマナー(渡し方やおじぎ・挨拶等)を調べて資料として提出。	
3		講義・演習	【Illustrator】名刺作成を課題に、レイヤー・レイアウトを理解する	次回の授業に備え名刺作成時に使用するレイヤー・レイアウトを考査し決めておく。	
4		講義・演習	【Illustrator】名刺作成を課題に、数値を入力しての正確な移動を理解する	使い方の復習を目標に提示した課題を作成する。	
5		講義・演習	【Illustrator】名刺作成を課題に、印刷設定を理解する	授業内で作ったもの以外に数種類作成し提出する。	
6		講義・演習	【Illustrator】オブジェクトを使ったイラスト作成を課題に、ベジェ曲線を理解する	授業で取り組んだ同様の課題を提示し、30分以内で作成出来るようになる。	
7		講義・演習	【Illustrator】図面作成を課題にパスツールを理解する	パスの仕組みを復習し、理解することを目標に提示した課題の表を作成する。	
8		講義・演習	【Illustrator】図面を作成する	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した図面を作成する。	
9		講義・演習	【Illustrator】ロゴマークの作成を課題に、文字のアウトライン化・クリッピングマスクを理解する	フォント毎にアウトライン化された場合のオブジェクトを確認して修正する。	
10		講義・演習	【Illustrator】ロゴマークの作成を課題に、画像の配置・ライブラリーストックを理解する。	スキャンしたデータを読み込み、手書きの文字をライブラリーストックして提出。	
11		講義・演習	【Illustrator】これまで学習したスキルを使って地図を作成する。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。	
12		講義・演習	【Illustrator】フライヤーの作成を課題にパス内文字ツールを理解する。	授業内容を基に様々な文字の入力方法で入力し、データを提出する。	
13		講義・演習	【Illustrator】フライヤーの作成を課題にエフェクト効果を理解する。	エフェクト効果を使った作品を作成し提出する。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Digital Foundation (1) (Digital Foundation B (1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤 淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。 Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力を目指してスキルを身に付けます。 現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 (1)Excelの基本的な使い方(表のデザイン、計算式)を身につける。 (2)PowerPointの基本的な使い方を身につけてプレゼンテーションスキルを上げる。 (3)Wordの基本的な使い方を身につける。						
評価方法と基準	1. レポート提出(%) : 50% 2. 筆記課題(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	WindowsとMacの違いを理解する。ショートカットキーが使えるようになる。	キーボード配列を覚える。ショートカットを覚える。
2		講義・演習	【Excel】罫線について、表の作り方を理解する。	セルの仕組みを覚え、エクセルの基本操作を覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
3		講義・演習	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
4		講義・演習	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの縦軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
5		講義・演習	【Excel】表と計算式／動員集計表を理解する。	計算式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
6		講義・演習	【Excel】表と計算式／動員集計表が作成出来るようになる。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。。
7		講義・演習	【Excel】表と計算式／売り上げ管理表から数字を理解出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。。
8		講義・演習	【Excel】表と計算式／売り上げ管理表を理解する。作成出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
9		講義・演習	【Excel】表と計算式／テストの平均点を理解し、作成出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
10		講義・演習	【Excel】表と計算式／予算表を作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
11		講義・演習	【Excel】表と計算式／請求書を作成出来るようになる。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
12		講義・演習	【Excel】図形描画／イベントシートとステージ簡易図面が作成出来るようになる。	造形描画の種類と使いかたを覚えることを目標に提示した課題の図形を作成する。
13		講義・演習	【Excel】図形描画／イベントシートとステージ簡易図面が作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Foundation (2) (Digital Foundation A (2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤 淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンターテインメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。パソコンの理解度の向上とソフトウェアのスキルの向上を目的に、現場で役立つことに特化して学んでいきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 (1)Adobe Illustratorの基本的な使い方 (2)DTPの基本的な解釈と留意点 (3)デザイン的な創作の解釈と留意点						
評価方法と基準	1. データーレポート提出(%) : 50% 2. 授業内課題(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	【Photoshop】基本知識・レイヤー・デバイスからの取り込みを覚える	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を作成する。
2		講義・演習	作品制作に合う写真素材を定めた画素数や形式を基に撮影する	作品制作課題に向けてフォトロケーションを調べて提出する。
3		講義・演習	【Photoshop】画像解像度を理解する	画像解像度を理解し、1つの写真から72dpiのデータと350dpiのデータを作成し提出。
4		講義・演習	【Photoshop】保存形式を理解する	保存形式によっての特徴を理解するためjpg/gif/pngで保存した画像をそれぞれ提出する。
5		講義・演習	【Photoshop】色調補正・カラーモード・レタッチを理解する	自分で撮影した写真を使って授業内で覚えたトリミングを駆使し作品を提出する。
6		講義・演習	【Photoshop】レタッチを理解する	本日の授業を理解した上で「雪が降っている画像」と「湯気が出ている画像」を作成し提出する。
7		講義・演習	【Photoshop】切り抜きと合成を理解する	切り抜きのクオリティーを高めるために提示された課題を提出する。
8		講義・演習	【Photoshop】作品(フライヤー)制作に取り組む	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を提出する。
9		講義・演習	【Photoshop】作品(フライヤー)制作に取り組む	制作を進めて提出する。
10		講義・演習	＜課題試験＞これまで習得した知識・技術を駆使し、ポストカードを制作する	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を作成する。
11		講義・演習	＜課題試験＞これまで習得した知識・技術を駆使し、ポストカードを制作する	制作を進めて提出する。
12		講義・演習	進級制作展を校内宣伝するためのフライヤーを作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内に設置してもらう。
13		講義・演習	卒業制作展を校内宣伝するためのフライヤーを作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内に設置してもらう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Foundation (2) (Digital Foundation A (2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤 淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。 Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力を目指してスキルを身に付けます。 現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 (1)Excelの基本的な使い方(表のデザイン、計算式)を身につける。 (2)PowerPointの基本的な使い方を身につけてプレゼンテーションスキルを上げる。 (3)Wordの基本的な使い方を身につける。						
評価方法と基準	1. レポート提出(%) : 50% 2. 筆記課題(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	【PowerPoint】PPの基本仕様、Word、Excelとの互換性を理解する	スライド3枚で自分のお気に入り紹介資料を作成する。
2		講義・演習	【PowerPoint】スライドマスタを理解し、用途に合ったスタイルを使用することが出来る	スライドマスタを理解して、マスタを5種類作る。
3		講義・演習	【PowerPoint】挿入出来る種類の図と挿入方法を理解して、プロフィールシートを作成する	授業内で作ったプロフィールシート以外で1種類作る。
4		講義・演習	【PowerPoint】プレゼンテーション資料の作成:スライドを理解し、設定出来るようになる	これまで作成した資料をスライド設定させる。
5		講義・演習	【PowerPoint】プレゼンテーション資料の作成:アニメーションを理解し、効果的に設定できるようになる	これまで作成した資料にアニメーションを加える。
6		講義・演習	【Excel】作業工程表の作成が出来るようになる	授業内課題に取りかかるにあたり作業行程表を作成する。
7		講義・演習	【Word】段組、文字の回り込みを理解し、プレゼンテーション原稿を作成する	Wordの基本的な仕組みを復習することを目的に新聞を作成する。
8		講義・演習	これまで学んだ総まとめとしてプレゼンテーション資料(原稿・アニメーション付)を作成する	次回プレゼンテーション発表が出来るように練習しておく。
9		講義・演習	PC設定も自身で行い、プレゼンテーションを発表する	他人の発表を見てどのパワーポイントが効果的に伝わったかを考察し800字以内で提出。
10		講義・演習	PowerPointとExcel・Word全てのソフトを使用し自己紹介を行うための資料を作成する。	次回の発表に向けて準備を行う。
11		講義・演習	PowerPointとExcel・Word全てのソフトを使用し自己紹介の発表を行う。	他人の発表を見てどの資料が効果的に伝わったかを考察し800字以内で提出。
12		講義・演習	【PowerPoint】進級制作展を校内宣伝するための資料を作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内放送してもらう。
13		講義・演習	【PowerPoint】卒業制作展を校内宣伝するための資料を作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内放送してもらう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vectorworks Basic(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成の知識、スキルをを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期授業についての概要説明、MACの基本操作を学ぶ。	基本的なPC操作の復習レポートを作成。
2		講義・演習	ベクターワークスに慣れる①	授業内容の復習レポートを作成。
3		講義・演習	ベクターワークスに慣れる②	授業内容の復習レポートを作成。
4		講義・演習	直線・曲線を自由に描く	直線、曲線を描く復習レポートを作成。
5		講義・演習	多角線を描く	多角線を描く復習レポートを作成。
6		講義・演習	図形を描く	図形を描く復習レポートを作成。
7		講義・演習	線と図形を組み合わせて描く	図形を描く復習レポートを作成。
8		講義・演習	縮尺を理解し、慣れて使う①	授業内容の復習レポートを作成。
9		講義・演習	縮尺を理解し、慣れて使う②	授業内容の復習レポートを作成。
10		講義・演習	劇場図面を理解する①	様々な劇場の図面を調べてみる。
11		講義・演習	劇場図面を理解する②	様々な劇場の図面を調べてみる。
12		講義・演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
13		講義・演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ベクターワークス トレーニングブックより抜粋				

科目名	Vectorworks Basic(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成・照明仕込み図作成の知識、スキルを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期授業内容のふりかえり	前期授業内容の復習をしておく。
2		講義・演習	袖幕配置、照明仕込み図のシンボル登録方法を学ぶ。	袖幕、シンボル登録の復習レポートを作成。
3		講義・演習	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
4		講義・演習	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
5		講義・演習	舞台総合図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
6		講義・演習	舞台図面の色つけと照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	色付け、仕込み図の復習レポートを作成。
7		講義・演習	舞台図面のオリジナル図作成と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	オリジナル図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
8		講義・演習	舞台のデザイン図と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	デザイン図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
9		講義・演習	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
10		講義・演習	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
11		講義・演習	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
12		講義・演習	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
13		講義・演習	作成した図面を活かし、進級制作展の舞台、照明を仕込む。	進級制作展の図面作成と資料の整理
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、卒業進級制作展の準備を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ベクターワークス トレーニングブックより抜粋・実公演図面				

科目名	音響電気知識舞台機構調整士(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	講師紹介、他人紹介、授業の進め方、教科書についての説明。ケーブル巻きを学ぶ。	シラバス、教科書、確認しておく事。
2		講義・演習	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについての知識を学ぶ。	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについて復習レポートを作成。
3		講義・演習	スピーカー、スピーカースタンドについての知識を学ぶ。	スピーカー、スピーカースタンドについて復習レポートを作成。
4		講義・演習	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについての知識を学ぶ。	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについて復習レポートを作成。
5		講義・演習	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその1について復習レポートを作成。
6		講義・演習	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその2について復習レポートを作成。
7		講義・演習	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその3について復習レポートを作成。
8		講義・演習	簡易PAセットにCDを接続し、AUXの使い方とリバーブの接続を学ぶ。	CD接続、AUX、リバーブについて復習レポートを作成。
9		講義・演習	上記のセットにさらにGEQを接続する方法を身につける。	GEQ接続について復習レポートを作成。
10		講義・演習	上記にさらにモニタースピーカーを接続する方法を身につける。	モニタースピーカー接続について復習レポートを作成。
11		講義・演習	上記全セットの組み上げと調整の仕方を身につける。	上記セットを各自組み上げ、調整1について復習レポートを作成。
12		講義・演習	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プランを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13		講義・演習	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プランを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	
【使用教科書・教材・参考書】				
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	音響電気知識舞台機構調整士(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音について～音はなぜ聞こえるのか～を学ぶ。	音について、音はなぜ聞こえるのか、について復習レポートを作成。
2		講義・演習	音波の伝播や音場、音速について理解する。	音波の伝播、音場、音速について復習レポートを作成。
3		講義・演習	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について理解する。	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について復習レポートを作成。
4		講義・演習	音色、オームヘルムホルツの法則、音波の性質について理解する。	音色 オームヘルムホルツの法則 音波の性質1について復習レポートを作成。
5		講義・演習	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について理解する。	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について復習レポートを作成。
6		講義・演習	騒音、NC値、音響心理1について学ぶ。	騒音、NC値、音響心理1について復習レポートを作成。
7		講義・演習	音響心理2について学ぶ。	音響心理2について復習レポートを作成。
8		講義・演習	電気の基礎1について学ぶ。	電気の基礎1について復習レポートを作成。
9		講義・演習	電気の基礎2 アース ノイズについて学ぶ。	電気の基礎2 アース ノイズについて復習レポートを作成。
10		講義・演習	電気音響機器1について学ぶ。	電気音響機器1について復習レポートを作成。
11		講義・演習	電気音響機器2について学ぶ。	電気音響機器2について復習レポートを作成。
12		講義・演習	電気音響機器3について学ぶ。	電気音響機器3について復習レポートを作成。
13		講義・演習	進級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	
【使用教科書・教材・参考書】				
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	著作権(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	研井 陽介
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、日本におけるポップ・ロックミュージックの起こりから現代まで、その発達の歴史を深く学びます。 その歴史や文化に触れ、広い視点で日本におけるポピュラー音楽の位置づけを概観することができる。						
到達目標	時代の流れに沿った、日本のロック・ポップスの発達を深く知ること、自分たちの作り出す音楽と、日本のロック・ポップスの歴史・進化を結び付け評価することができる。 また、進路となる日本のミュージックシーンすなわち業界の先輩となる方々の功績を学ぶ。						
評価方法と基準	1) 定期テスト80% 2) 出席数20%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	授業の進め方(資料、音源、映像等)の確認 日本のポップスの夜明け	美空ひばり、坂本九など昭和の象徴と呼べる大御所 グループサウンズと呼ばれたブームを探る	
2		講義・演習	フォークの時代	吉田拓郎、井上陽水、かぐや姫などフォークの名 曲を歌詞にスポットを当てて時代背景を探る	
3		講義・演習	日本流の本格派ロック～ニューミュージック	フラワートラベリングバンド、ユーミン、CHAR など、70年代のミュージックシーンを探る	
4		講義・演習	歌謡曲とロック・ポップスの融合	山口百恵、松田聖子、中森明菜など当時のアイドル文化 職業作詞家／作曲家の存在を探る	
5		講義・演習	ジャパニーズ・ニューウェイヴの衝撃	イエローマジックオーケストラ(YMO)を中心に 日本独自のテクノポップ世界を探る	
6		講義・演習	ロックの大衆化とバンドブーム①	チェッカーズ、レベッカ、BOOWYなどと共に80年代シーンを探る メジャーデビューについて考察 バンドブーム	
7		講義・演習	ロックの大衆化とバンドブーム②	TMネットワーク、ブルーハーツ、X JAPANなどと共に80年代シーンを探る 80年代という時代を、オーディションやCMタイアップなどから考察する。	
8		講義・演習	90年代型ロックスターの登場①	L'Arc〜en〜Ciel、ドリカム、B'zなどと共に90 年代シーンを探る	
9		講義・演習	90年代型ロックスターの登場②	LUNA SEA、GLAYなどと共に90年代シーンを探る	
10		講義・演習	オルタナティヴ指向の定着とシーンの二極化	PIZZICATO FIVE、Mr.Children、椎名林檎などのアーティスト考察	
11		講義・演習	90以降 多様化を謳歌する日本の音楽シーン	多様化するシーンを、Globe、MISIA、宇多田ヒカル、MONGOL 800などのアーティストと共に探る インディーズ、アイドル文化、アニソンなど	
12		講義・演習	テスト	レポート提出	
13		講義・演習	振り返り	基本的な知識があることを前提に、具体的なケース	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	著作権(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	研井 陽介
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、知的財産権の重要性が高い現代において欠かせない知識を学びます。 それは、著作権、および著作権を活用した音楽ビジネスの世界における、お金の流れを知ることになります。 著作物とは何か？著作権法とは何か？、を、具体的なケースを題材に多角的に学習することで、基礎スキルを習得します。						
到達目標	著作権、および著作権を活用した音楽ビジネスの基本的な理解。 目標とするレベル「ビジネス著作権検定 初級」						
評価方法と基準	1) 定期テスト80% 2) 平常点20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	生活の中の「知的財産権」を知る 授業での目標の確認 レベルチェック実施	毎日の生活が知的財産権にあふれていることを確認し、この授業で学ぶべきことを明確にする。
2		講義・演習	授業概要について明確にする 「著作権の全体像」「著作物」「著作者」「著作者人格権」とは？	授業概要・・・著作権の全体像、著作物、著作者、著作者人格権、著作権(内容・制限・保護期間) 出版権と著作隣接権、権利侵害に対する措置、著作権法の周辺知識
3		講義・演習	著作権(内容・制限・保護期間) JASRAC その1	著作権として「著作権」と音楽の定義と大まかにしながら一歩ずつ理解する 私的録音録画 補償金制度 営利を目的とした複製とは？
4		講義・演習	出版権と著作隣接権	実演家とは？ リテラシーも含め、権利の所在を正しく理解できるようにしよう。 プロダクション・レコード会社・音楽出版社の仕事を知る その1
5		講義・演習	「権利侵害に対する措置」「著作権法の周辺知識」	契約に関する知識を契約書から学んでみよう。
6		講義・演習	契約に関連する民法知識 JASRACその2	著作権印税の流れ。印税とは？誰にいくら、どのように支払われているのか？
7		講義・演習	著作物とは その2 音楽以外の著作物に関する知識	広告代理店の仕事 著作権使用料など、お金の流れを学ぶ。 パブリシティ権・肖像権・名誉毀損・誹謗中傷などの法的な取り扱いはどうか。
8		講義・演習	知的財産権に関する時事ニュース 著作者の権利をより深く学ぶ	著作権をめぐる裁判・判例の争点を考察する
9		講義・演習	身近な著作権 例)パブリックビューイング	著作権等管理事業者について学ぶ JASRACについての具体的な事案を考察してみる。
10		講義・演習	実演家の契約について考える 音楽出版社の役割	音楽出版社とは、どのような会社で、どのような役割をになっているかを学ぶ。 大まかなロジックと 具体的な契約内容について
11		講義・演習	知的財産権全般(特許・実用新案・意匠・商標等)	時代の急激な変化とグローバルな視点での知的財産権を考える。 新たなメディア(Youtube等)との向き合い方を各自で考える。
12		講義・演習	テスト	レポート提出
13		講義・演習	振り返り	基本的な知識があることを前提に、具体的なケース
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			興味の幅を広げることが何よりも大切。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	照明概論(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林 之弘
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	舞台照明に関する基礎知識を習得し、学校の機材名、役割がわかる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明	レポート
2		講義・演習	作品に携わる主要メンバーとデザイナーの仕事	レポート
3		講義・演習	機材知識1 フラッドライト、スポットライトが理解できる	レポート
4		講義・演習	機材知識2 プロファイルスポット、ノンレンズスポット、パーライトが理解できる	レポート
5		講義・演習	安全知識 (ヘルメット・脚立)	レポート
6		講義・演習	機材知識3 ムービングライト、効果機が理解できる	レポート
7		講義・演習	機材知識4 電球、フィルター、ゴボ、ケーブル知識が理解できる	レポート
8		講義・演習	舞台機構が理解できる	レポート
9		講義・演習	舞台照明設備が理解できる	レポート
10		講義・演習	舞台照明設備が理解できる	レポート
11		講義・演習	舞台照明の仕事1	レポート
12		講義・演習	舞台照明の仕事2	レポート
13		講義・演習	前期テスト	レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021				

科目名	照明概論(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林 之弘
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	学校機材の準備ができるよう仕込み図の理解と機材の扱い方がわかる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	仮設現場1	レポート
2		講義・演習	仮設現場2	レポート
3		講義・演習	照明をコントロールする仕組み1	レポート
4		講義・演習	照明をコントロールする仕組み2	レポート
5		講義・演習	照明をコントロールする仕組み3	レポート
6		講義・演習	仕込み図を読む/仕込み図から情報を読み取る	レポート
7		講義・演習	仕込み図を作ろう/基本仕込みが書ける	レポート
8		講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ	レポート
9		講義・演習	作品鑑賞 ミュージカル作品	レポート
10		講義・演習	後期まとめテスト	レポート
11		講義・演習	照明実務1 公演準備(持ち物:上演台本)ができる	レポート
12		講義・演習	照明実務2 仕込み図を読む/図面を読解できる	レポート
13		講義・演習	照明実務3 ピンスポット・フォロー/基本動作ができる	レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			教室外でも一人で進められる調査研究を時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021				

科目名	音楽業界知識(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高田 雄貴
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	プロの業界人として必要とされる音楽ビジネスのしくみを確実に理解できるようになる。 音楽業界の基本となる権利ビジネスのしくみや制作のスケジュール感を身につける。 音楽業界にはどのような職種があるのかを知る。 レーベル、プロダクション、イベンター、アーティストなど音楽業界の関係性を理解できるようになる。						
到達目標	レーベル、プロダクション、イベンター、アーティストやそれらを取り巻くメディアを中心にそれぞれがどのように関わって音楽業界が成り立っているのかを把握する。自身が目指す職種の業界内での立ち位置を理解し、そこに関わる役割分担を理解する。						
評価方法と基準	試験評価：出席率、時間外学習での理解度を加味し、90～100点をA、80～90点をB、70～80点をC、70～60をD、それ以下をFとする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プロになることの心構えと業界の実情を把握する	レポート
2		講義・演習	プロになるために大切な音楽の知識の必要性が理解できる	レポート
3		講義・演習	音楽業界は権利ビジネスであることが理解できる	レポート
4		講義・演習	音楽業界全体の役割分担を理解できる	レポート
5		講義・演習	レーベルのしくみを知る①	レポート
6		講義・演習	レーベルのしくみを知る②	レポート
7		講義・演習	音楽制作の行程、スケジュールを理解する	レポート
8		講義・演習	著作権という概念を理解できる	レポート
9		講義・演習	印税と音楽著作権使用料を理解できる	レポート
10		講義・演習	業界をとりまくメディアの役割を理解できる	レポート
11		講義・演習	プロモーションの考え方を理解できる	レポート
12		講義・演習	マーケティングというものを理解できる	レポート
13		講義・演習	テスト	テスト
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽業界知識(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高田 雄貴
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	プロの業界人として必要とされる音楽ビジネスのしくみを確実に理解できるようになる。 音楽業界の基本となる権利ビジネスのしくみや制作のスケジュール感を身につける。 音楽業界にはどのような職種があるのかを知る。 レーベル、プロダクション、イベンター、アーティストなど音楽業界の関係性を理解できるようになる。						
到達目標	レーベル、プロダクション、イベンター、アーティストやそれらを取り巻くメディアを中心にそれぞれがどのように関わって音楽業界が成り立っているのかを把握する。自身が目指す職種の業界内での立ち位置を理解し、そこに関わる役割分担を理解する。						
評価方法と基準	試験評価:出席率、時間外学習での理解度を加味し、90～100点をA、80～90点をB、70～80点をC、70～60をD、それ以下をFとする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プロダクションの仕事内容と業界での役割分担を理解できる	レポート
2		講義・演習	イベンターの仕事内容と業界での役割分担を理解できる	レポート
3		講義・演習	コンサートの現場の構成を理解できる	レポート
4		講義・演習	CDリリースに関する予算を理解できる	レポート
5		講義・演習	CDリリースに関する原価計算ができる	レポート
6		講義・演習	プロの作曲家の仕事の行程が理解できる	レポート
7		講義・演習	肖像権の考え方を理解できる	レポート
8		講義・演習	音楽配信とネットと音楽の関わりを理解できる	レポート
9		講義・演習	原盤権と著作権を理解できる	レポート
10		講義・演習	音楽に関わる様々な職種が理解できる	レポート
11		講義・演習	契約という概念を理解できる	レポート
12		講義・演習	今後の業界の展望が理解できる	レポート
13		講義・演習	テスト	テスト
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台知識(A)(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	劇場や舞台の機構、使用する物の名称や使い方、仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	学生は、舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	レポート課題提出30% 筆記による舞台知識を測る期末試験の得点で 評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台用語を習得する。	習った舞台用語を復習し、覚える。
2		講義・演習	劇場/舞台という空間についての知識を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
3		講義・演習	劇場やホールの種類と形状を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
4		講義・演習	搬入・搬出方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5		講義・演習	吊りものの種類を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
6		講義・演習	吊り方の理論を習得する。	舞台平面図にボタン位置を記入する
7		講義・演習	照明卓の操作方法を習得する。	舞台断面図に照明ボタンを記入する
8		講義・演習	幕の吊りものの種類を取得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
9		講義・演習	幕の吊り方・照明のシュートの作業方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10		講義・演習	綴帳の操作方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
11		講義・演習	舞台道具(箱馬・平台)の説明や使い方を習得する。	平台、箱馬などを図面化する
12		講義・演習	舞台道具(トラス・パトン)の説明や使い方を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
13		講義・演習	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック				

科目名	舞台知識(A)(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	運営・制作以外の裏方の仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	舞台知識を問う課題提出 30% 知識を活かし、進級制作展への積極的な参加により、コミュニケーションを図り仕事が円滑に出来たかを演習を通して評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台装置の種類と効果を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
2		講義・演習	舞台美術で使用する道具について習得する	教室の平面図を作成する
3		講義・演習	舞台の空間認識について習得する	舞台美術を自分自身でプランする
4		講義・演習	舞台の寸法・縮尺の知識について習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5		講義・演習	舞台で使用する図の解釈と使用方法を習得する	教室の平面図を作成する
6		講義・演習	舞台の流れ(段取り・音響の流れに関して)を習得する	PAエンジニアコースから「明日への扉」時の流れを聞かれポートにて提出
7		講義・演習	音響が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
8		講義・演習	舞台の流れ(段取り・照明の流れに関して)	照明スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞かれポートにて提出
9		講義・演習	照明が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10		講義・演習	舞台の流れ(段取り・舞台監督の流れに関して)	舞台制作スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞かれポートにて提出
11		講義・演習	舞台監督が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
12		講義・演習	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。
13		講義・演習	進級制作展で使用する実際の図面や資料を見て流れを舞台の流れを習得する。	進級制作展の図面資料を元にレポートの作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック				

科目名	舞台知識(B)(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	劇場や舞台の機構、使用する物の名称や使い方、仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	学生は、舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	レポート課題提出30% 筆記による舞台知識を測る期末試験の得点で 評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台用語を習得する	習った舞台用語を復習し、覚える。
2		講義・演習	劇場/舞台という空間についての知識を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
3		講義・演習	劇場やホールの種類と形状を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
4		講義・演習	搬入・搬出方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5		講義・演習	吊りものの種類を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
6		講義・演習	吊り方を習得する	舞台平面図にボタン位置を記入する
7		講義・演習	照明卓の操作方法を習得する	舞台断面図に照明ボタンを記入する
8		講義・演習	幕の吊りものの種類を取得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
9		講義・演習	幕の吊り方・照明のシュートの作業方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10		講義・演習	緞帳の操作方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
11		講義・演習	舞台道具(箱馬・平台)の説明や使い方を習得する	平台、箱馬などを図面化する
12		講義・演習	舞台道具(トラス・パトン)の説明や使い方を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
13		講義・演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして参加し、舞台を創る。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック				

科目名	舞台知識(B)(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	運営・制作以外の裏方の仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	舞台知識を問う課題提出 30% 知識を活かし、進級制作展への積極的な参加により、コミュニケーションを図り仕事が円滑に出来たかを演習を通して評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台装置の種類と効果を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
2		講義・演習	舞台美術で使用する道具について習得する	教室の平面図を作成する
3		講義・演習	舞台の空間認識について習得する	舞台美術を自分自身でプランする
4		講義・演習	舞台の寸法・縮尺の知識について習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5		講義・演習	舞台で使用する図の解釈と使用方法を習得する	教室の平面図を作成する
6		講義・演習	舞台の流れ(段取り・音響の流れに関して)を習得する	PAエンジニアコースから「明日への扉」時の流れを聞かれポートにて提出
7		講義・演習	音響が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
8		講義・演習	舞台の流れ(段取り・照明の流れに関して)	照明スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞かれポートにて提出
9		講義・演習	照明が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10		講義・演習	舞台の流れ(段取り・舞台監督の流れに関して)	舞台制作スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞かれポートにて提出
11		講義・演習	舞台監督が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
12		講義・演習	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。
13		講義・演習	進級制作展で使用する実際の図面や資料を見て流れを舞台の流れを習得する。	進級制作展の図面資料を元にレポートの作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック				

科目名	楽器知識(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北 英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。 各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち、コンサート現場やプロダクション業務、学校行事等において必要となる基本的な楽器の知識を習得する。						
評価方法と基準	筆記試験 70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	興味のある楽器について調べておく。
2		講義・演習	楽器の特徴の基礎知識を知り・覚える	楽器販売店に出向き 様々な楽器の視察、カタログの入手
3		講義・演習	DRUMSの基本セットを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ドラムについてレポート作成。
4		講義・演習	DRUMの メーカー名 知る Bass Drum の 構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、バスドラについてレポート作成。
5		講義・演習	Snare Drumの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、スネアについてレポート作成。
6		講義・演習	HI-HATの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットについてレポート作成。
7		講義・演習	HI-HAT STANDの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットスタンドについてレポート作成。
8		講義・演習	Dr 3点のセッティング・FLOOR TOM の構造・特徴を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。
9		講義・演習	TOM TOM の構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。
10		講義・演習	CYMBAL及びCYMBAL STANDのメーカー名・構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、シンバルについてレポート作成。
11		講義・演習	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。
12		講義・演習	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。
13		講義・演習	明日への扉にスタッフとして参加し、仕込みやミュージカル現場についての理解を深める①	使用されている楽器(劇中バンド)についてレポートを作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容と関連した楽器についてカタログやHP等で調べ、レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Ipad、各楽器メーカーの商品カタログ				

科目名	楽器知識(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北 英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。 各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識(名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方)等を習得し、学内イベント等現場での経験を通じ、実践力を養い将来的即戦力につなげる。						
評価方法と基準	筆記試験 70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の総復習 DrSETのSETTING	ドラムセッティングの復習レポートを作成。
2		講義・演習	電気に関することを知り、覚える	海外と国内の電源事情を調べてレポートを作成。
3		講義・演習	弦楽器全般について	楽器販売店にてカタログを収集する。
4		講義・演習	弦楽器 ギターについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しギターについてレポート作成。
5		講義・演習	弦楽器 ベースについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しベースについてレポート作成。
6		講義・演習	弦楽器 ギター、ベースアンプの基礎知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。
7		講義・演習	弦楽器 ギター、ベースアンプのトランジスタアンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。
8		講義・演習	弦楽器 ギター、ベースアンプの真空管アンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し真空管アンプについてレポート作成。
9		講義・演習	鍵盤楽器 全般における基礎知識	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し鍵盤楽器についてレポート作成。
10		講義・演習	鍵盤楽器 デジタルシンセサイザーについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しデジタルシンセサイザーについてレポート作成。
11		講義・演習	後期講義に関してのまとめ	上記以外で興味のある楽器について調べてレポート作成。
12		講義・演習	楽器についての総まとめ	過去資料を参照し理解を深める。
13		講義・演習	進級制作展にスタッフとして参加し、楽器仕込みや音についての理解を深める。	使用されている楽器についてレポートを作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業で学んだことの復習と楽器のカタログ等を自分で収集し見てレポート作成する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語(1) (韓国語Basic(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習したり発表する						
到達目標	①韓国語で日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③韓国語に対して抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期試験80% 2) 出席数 10% 3) 態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介・目標設定・関心事	ハングルの仕組み知る
2		講義・演習	数字を数える	書き方、覚える方法を知る
3		講義・演習	教科書とワークブックを活用	プリント配布
4		講義・演習	リスニングスキルを身につける	CD、Netflix,YouTubeで学習する
5		講義・演習	ペアで学習ができる	会話練習をする
6		講義・演習	韓国の文化を知る	日本の文化との違いを学習する
7		講義・演習	趣味、関心事について作文、発表	授業中に作文、発表する
8		講義・演習	食べ物、映画、ドラマについて話す	宿題として前もって作文してもらう
9		講義・演習	否定・賛成表現を練習する	単語を使って文章を作る練習
10		講義・演習	定期試験	試験前に復習をする
11		講義・演習	過去形を学習する	文法を活用して話す練習をする
12		講義・演習	ゲームをしながら学習する	日記の宿題を出す
13		講義・演習	韓国映画を見る	日本語字幕で鑑賞
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級1, 2、ワークブック、プリント、イラストとゴロで覚える韓国語				

科目名	韓国語(1) (韓国語Entry(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習したり発表する						
到達目標	①韓国語で日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③韓国語に対して抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期試験80% 2) 出席数 10% 3) 態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介・目標設定・関心事	ハングルの仕組み知る
2		講義・演習	ハングル文字を覚える	書き方、覚える方法を知る
3		講義・演習	教科書とワークブックを活用	プリント配布
4		講義・演習	リスニングスキルを身につける	CD、Netflix,YouTubeで学習する
5		講義・演習	ペアで学習ができる	会話練習をする
6		講義・演習	韓国の文化を知る	日本の文化との違いを学習する
7		講義・演習	趣味、関心事について作文、発表	授業中に作文、発表する
8		講義・演習	食べ物、映画、ドラマについて話す	宿題として前もって作文してもらう
9		講義・演習	否定・賛成表現を練習する	単語を使って文章を作る練習
10		講義・演習	定期試験	試験前に復習をする
11		講義・演習	可能形を学習する	文法を活用して話す練習をする
12		講義・演習	ゲームをしながら学習する	日記の宿題を出す
13		講義・演習	時間・日程・数字を練習する	書きながら暗記するように進行
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級1, 2、ワークブック、プリント、イラストとゴロで覚える韓国語				

科目名	韓国語(1) (韓国語Advance(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	徐慧精
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の社会や文化について学ぶ。						
到達目標	1) 適切なコミュニケーションができるようになる。 2) 韓国の社会や文化について理解を深める。 3) 意思を伝達することができるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、目標設定	自己紹介を書く。
2		講義・演習	初級Ⅱの復習をする。	プリントで練習する。
3		講義・演習	性格について	学んだ文法の練習をする。
4		講義・演習	発表会	発表した作文を直す。
5		講義・演習	TOPIK	TOPIKの練習する。
6		講義・演習	買い物をする。	作文をする。
7		講義・演習	発表会と会話	学んだ文法の練習をする。
8		講義・演習	手紙を書く。	作文をする。
9		講義・演習	-아/어 있다	学んだ文法の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	復習をする。
11		講義・演習	TOPIK	TOPIKの練習する。
12		講義・演習	-(으)ㄴ/는/(으)ㄹ 것 같다	学んだ文法の練習をする。
13		講義・演習	CDを聴く。	聴いて書く。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅱ & ワークブック、プリント。				

科目名	韓国語(1) (韓国語Opcional(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	徐慧精
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) ハングルの表記を覚える。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、目標設定	プリントで練習する。
2		講義・演習	基本母音を知る。	書く練習と発音の練習をする。
3		講義・演習	子音 + 母音 の組み合わせを読む。	書く練習と単語を覚える。
4		講義・演習	激音について	書く練習と発音の練習をする。
5		講義・演習	濃音について	書く練習と発音の練習をする。
6		講義・演習	バッチム	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
7		講義・演習	合成母音	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
8		講義・演習	発音の変化	発音の練習をする。
9		講義・演習	簡単な会話	会話の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	単語や簡単な会話を覚える。
11		講義・演習	-입니다 / -입니까?	文章を作る練習をする。
12		講義・演習	韓国語で自己紹介をする。	自己紹介を書く。
13		講義・演習	発表会と話し合い	聴いて書く。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅰ & ワークブック、プリント。				

科目名	韓国語(2) (韓国語Basic(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習したり発表する						
到達目標	①韓国語で日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③韓国語に対して抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期試験80% 2) 出席数 10% 3) 態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	勉強したいことを聞く・後期の目標設定	予習と復習することの大切さを話す
2		講義・演習	憧れの存在について話し合う	副教材を利用する
3		講義・演習	スポーツについて話し合う	プリント配布
4		講義・演習	感情・関係について話し合う	辞書・翻訳機の使い方を教える
5		講義・演習	旅行・行きたいところについて話し合う	ペアの相手と話し合う
6		講義・演習	最新ニュース、記事を学習する	調べて書いてきてもらう
7		講義・演習	身体・美容について学習する	ネット検索をしてもらって作文を書く
8		講義・演習	地理・国名について学習する	韓国の地理と世界について学習
9		講義・演習	天気・植物について学習する	テスト準備を呼びかける
10		講義・演習	定期試験	試験前に復習を行う
11		講義・演習	季節・気分について学習する	前に出て発表してもらう
12		講義・演習	トレーニング・運動について学習する	ペアを組んで練習する
13		講義・演習	乗り物・歴史について学習する	1年を振り返る
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語(2) (韓国語Entry(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習したり発表する						
到達目標	①韓国語で日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③韓国語に対して抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期試験80% 2) 出席数 10% 3) 態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	勉強したいことを聞く・後期の目標設定	予習と復習することの大切さを話す
2		講義・演習	憧れの存在について話し合う	副教材を利用する
3		講義・演習	スポーツについて話し合う	プリント配布
4		講義・演習	感情・関係について話し合う	辞書・翻訳機の使い方を教える
5		講義・演習	旅行・行きたいところについて話し合う	ペアの相手と話し合う
6		講義・演習	最新ニュース、記事を学習する	調べて書いてきてもらう
7		講義・演習	身体・美容について学習する	ネット検索をしてもらって作文を書く
8		講義・演習	地理・国名について学習する	韓国の地理と世界について学習
9		講義・演習	天気・植物について学習する	テスト準備を呼びかける
10		講義・演習	定期試験	試験前に復習を行う
11		講義・演習	季節・気分について学習する	前に出て発表してもらう
12		講義・演習	トレーニング・運動について学習する	ペアを組んで練習する
13		講義・演習	乗り物・歴史について学習する	1年を振り返る
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語(2) (韓国語Advance(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	徐慧精
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の社会や文化について学ぶ。						
到達目標	1) 適切なコミュニケーションができるようになる。 2) 韓国の社会や文化について理解を深める。 3) 意思を伝達することができるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習をする。	復習する。
2		講義・演習	TOPIK	TOPIKの練習する。
3		講義・演習	설날とお正月	長文の作文をする。
4		講義・演習	韓国と日本の違い	会話の練習をする。
5		講義・演習	TOPIK	TOPIKの練習する。
6		講義・演習	집들이について	招待状を書く。
7		講義・演習	CDを聞く。	聴いて書く。
8		講義・演習	学生としての生活について	長文の作文をする。
9		講義・演習	キーボードの使い方	ハングルでメールを送る。
10		講義・演習	定期試験	復習をする。
11		講義・演習	最新のニュース	ニュースの内容を書く。
12		講義・演習	自分将来について	夢の作文
13		講義・演習	一年間の振り返り	意思表示をする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語(2) (韓国語Opcional(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	徐慧精
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習をする。	プリントでの復習。
2		講義・演習	-이 / 가 아닙니다.	否定文の練習をする。
3		講義・演習	職業について	会話の練習をする。
4		講義・演習	部屋の中を観察してみよう。	新しい単語を学ぶ。
5		講義・演習	簡単な質問ができる。	相手の話を聞いて返答をする。
6		講義・演習	家族関係が分かる。	文章を作る。授業内容の復習をする。
7		講義・演習	地名や場所名を覚える。	プリントで単語を覚える。
8		講義・演習	約束について会話する。	会話の練習をする。
9		講義・演習	位置に関する説明ができる。	作文の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	復習をする。
11		講義・演習	動画をみて見よう。	聴いて書く練習をする。
12		講義・演習	学んだ単語を確認しよう。	学んだ単語の復習をする。
13		講義・演習	一年間を振り返る。	会話の練習をする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Global Communication (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	be 動詞 (am, are) を使って自己紹介 (国籍や出身) する、または出身地を尋ねる会話を練習、疑問代名詞 [What] を使って、自分の個人情報相手を伝え、また相手の情報を聞く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	ホテルにチェックインする際の会話を練習する、個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	be動詞を使って、家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、友達や家族について説明する		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	年齢や誕生日について聞く、話す、写真に写っている友達のことについて話す、友達についての紹介文を書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	名詞の所有を表す [s] と [s'] を使って、自分の家について話す、[it is] を使って、家具について話す、		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する、分からない単語について質問する、ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「好きな音楽について」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	一般動詞「現在形」を使って、お気に入りの物について話す、一般動詞の「現在形」の疑問文を使って、どのようにテクノロジーを使用しているのかを話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	コミュニケーション手段について話す、相手の話を聞いていることを示す、商品のレビューを読む、書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「異なる週の活動について比較する」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	「現在形」肯定文、否定文を使って、平日、週末の行動について話す、「現在形」疑問文を使って、時間・自分のルーティン(日課)について話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する、自分の行動についてのレポートを読む、書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak: 前期発表		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Global Communication (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「現在進行形」肯定文を使って、家事や自宅での行動について話す 「現在進行形」疑問文を使って、旅行について質問する、または答える	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	電話で情報を共有する会話を練習する、今起こっていることについてのブログを読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	[Can / Can' t] (能力) を使って、自分の能力や才能について話す [Can / Can' t] (可能性) を使って、職場や学校でできること、できないことについて話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する、インターネット上で自分の考えをコメントする	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	[this] と [these] を使って、休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to] を使って、旅行計画を立てる	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する場所についての説明を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	[be going to] を使って、週末のアウトドア（野外）プランについて話す、[be going to]（疑問文）を使って、異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する オンラインでの招待状を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画する」・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す、be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、記憶にある色について話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	自分の記憶を表現し、映画、俳優について話す 過去の思い出として保管している物についてEメールを書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak:後期発表	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	日本語講座 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神田智子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職・デビュー活動に必要な日本語能力を養います。 * 前期は、日本の就職活動の概要理解、業界・企業・職種研究、企業担当者やOB・OG訪問、インターンシップ準備などを行い、日本で働くことをイメージできるようにします。また日本語能力試験の対策を行います。 * 後期は、日本語能力試験対策及び、就職・デビューに関わる面接対策等を行います。						
到達目標	1. 日本の企業や業界について理解する。 2. OB・OG訪問やインターンシップを通じて日本での就業を体験し、就職への具体的なイメージを掴む。 3. 日本語で履歴書が書けるようになる。 4. 面接に対応できる日本語力やビジネスマナーを身に付ける。 5. 日本語能力試験N1への合格、または同等の日本語力を身につける。						
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)と前期・後期末試験について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	日本の就職・デビュー活動の概要	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
2		講義・演習	履歴書①基本情報の書き方	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
3		講義・演習	業界研究 調査①	業界の自主研究及び資料作成
4		講義・演習	業界研究 調査②	業界の自主研究及び資料作成
5		講義・演習	企業研究 調査① 好きなアーティストの所属先	企業の自主研究及び資料作成
6		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	企業の自主研究及び資料作成
7		講義・演習	N1の試験についての心構え～ 例題①	〈課題〉資料作成
8		講義・演習	レベルチェックテスト（20～30分）テスト答え合わせ解説 N1 状況状態に関する語彙	建前、矛盾 チームワークなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
9		講義・演習	N1文法 導入文型 ～とあって、～ならでは、～にもまして、～からして 例文作成、会話練習 N1語彙 人を見て思う感情表現語彙	あさましい めざましい 根拠り業掘りなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
10		講義・演習	N1文法 導入文型 ～を余儀なくされる ～たりとも ～きらいがある ～あっての 例文作成会話練習 N1相手を気遣う語彙	あいにく 何気ない 独自の などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
11		講義・演習	N1文法 導入文型 ～をよそに ～なりに ～ないでもない ～すら～なかった 例文作成、会話練習 N1困惑する感情の語彙 実践問題	不審な 閉口する 反発する などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
12		講義・演習	N1文法 導入文型 文法～とは(驚き)～がはやいか ～そばから ～ずにはおかない 例文作成、会話練習 N1時間 時期の語彙 。夏休みに向けて	適宜、時折 古参の などの語彙を使う状況を挙げ例文作成 読解問題宿題。夏休み課題の取り組み
13		講義・演習	振り返り。N1 試験について	夏休み課題の復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	日本語講座(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神田智子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職に有利なJLPTN1取得を目標とし、特に出題されやすい接続詞を抜粋して導入、定着を目指す。併せてすべての基礎となる語彙力向上も目標とする またN1レベルの文法や語彙の使い分けも身につける * 講習ごとに語彙テストを行い、また「使える」語彙力を前提に積極的に会話練習を行う * わかりやすく導入するために例文提示と例文作成を行う						
到達目標	1. JLPTN1合格を目指す 2. 正しい接続詞の使い方を学び、実際に使えるようにする 3. 実際に使える語彙を増やす 読める漢字を増やす						
評価方法と基準	1・前期 期末試験の得点 2・N1レベル文法の習得度 N1レベル語彙の実践問題 正解率 3・出席率 授業態度 以上を基準として総合的に評価する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	N1文法 導入文型 ～ともなると ～もさることながら ～に即した ～を思い他にない 例文作成、会話練習 N1相手に対応する語彙	報いる 用心する 勘違い などの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
2		講義・演習	N1文法 導入文型 ～までもなく ～いかに ～とは言えないまでも ～とい～とい 例文作成、会話練習 N1将来未来の語彙	果てしなく 遠からず 粘り強く などの語彙を使う状況を考え 例文作成 読解問題宿題
3		講義・演習	N1文法 導入文型～のをいいことに ～にもほどがある ～ならまだしも ～以前の 例文作成、会話練習 N1物に働きかける語彙	活性化 正常化 目に見えて などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
4		講義・演習	N1文法 導入文型 ～たら～たで ～ようものなら ～ならいざしらず ～にこしたことはない 例文作成、会話練習 N1経済の語彙	不況 不振 盛況などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
5		講義・演習	N1文法 導入文型～とはいえ ～といったところだ ～に～ない ～にかこつけて 例文作成、会話練習 N1仕事の語彙	打ち込んでいる 立て込んでいる 乗り切る などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
6		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 語彙	文法例文作成 + 読解問題宿題
7		講義・演習	N1模擬試験問題 語彙 漢字	語彙例文作成 + 読解問題宿題
8		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 漢字	文法例文作成 + 読解問題宿題
9		講義・演習	N1試験対策	レポート提出
10		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	レポート提出
11		講義・演習	インターンシップ② プロフィールシート作成	〈課題〉資料作成
12		講義・演習	企業に入ってからのこと。OB OGIに聞きたいこと。	レポート提出
13		講義・演習	1年のまとめをプレゼンテーションする。	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Foundation Adv (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小野田 奨
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	映像制作を通して、クリエイティブ制作に関する多様な知識・スキルを学ぶ						
到達目標	映像制作の基本的なテクニックを身に付け、 今後のクリエイティブ制作にかかわる際に役立てることができる						
評価方法と基準	課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	PremiereProをインストール
2		講義・演習	PremierePro基礎	提供された素材をダウンロード
3		講義・演習	Photoshop基礎/テロップ実践	Photoshopをインストール
4		講義・演習	Photoshop レタッチ	提供された素材をダウンロード
5		講義・演習	撮影実践	撮影準備
6		講義・演習	Illustrator	Illustratorをインストール
7		講義・演習	映像制作実践①	提供された素材をダウンロード
8		講義・演習	映像制作実践②	提供された素材をダウンロード
9		講義・演習	映像制作実践③	提供された素材をダウンロード
10		講義・演習	映像制作実践④	提供された素材をダウンロード
11		講義・演習	課題制作①	必要に応じ、最終提出課題を進める
12		講義・演習	課題制作②	必要に応じ、最終提出課題を進める
13		講義・演習	課題制作③	必要に応じ、最終提出課題を進める
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Foundation Adv (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小野田 奨
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	映像制作を通して、撮影編集に関する基本的な知識・スキルを学ぶ						
到達目標	映像制作の基本的なテクニックを身に付け、 今後映像制作にかかわる際に役立てることができる						
評価方法と基準	課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	
2		講義・演習	Davinci Resolve	提供された素材をダウンロード
3		講義・演習	MV制作	提供された素材をダウンロード
4		講義・演習	AfterEffects基礎	提供された素材をダウンロード
5		講義・演習	AfterEffects + 実写①	提供された素材をダウンロード
6		講義・演習	AfterEffects + 実写②	提供された素材をダウンロード
7		講義・演習	AfterEffects + 実写③	AdobeAfterEffectsをインストール
8		講義・演習	映像制作実践①	提供された素材をダウンロード
9		講義・演習	映像制作実践②	提供された素材をダウンロード
10		講義・演習	映像制作実践③	提供された素材をダウンロード
11		講義・演習	課題制作①	必要に応じ、最終提出課題を進める
12		講義・演習	課題制作②	必要に応じ、最終提出課題を進める
13		講義・演習	課題制作③	必要に応じ、最終提出課題を進める
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング概論(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	研井 陽介
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンターテインメントの「マーケティング」というカテゴリーに向き合う。 偏っていない自由な発想、立場によって異なる考え方、人間を相手にする事の難しさ、そんな事を「アーティスト」という言葉を 切り口に実際に業界で活躍する方を参考に学んでいく。						
到達目標	アーティストに関連するもの(ライブ・音源・グッズ)が売れる仕組みについて考えられるようになり、 アーティストという「人間」を対象としてマーケティングを行う大変さがわかるようになる。						
評価方法と基準	1)定期テスト80% 2)平常点20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「考え方」を学ぶという考え方	この授業で学ぶべきことを明確にする。 「答えがない問題」との向き合い方について考える。
2		講義・演習	【実例①1/4】一つのライブイベントを制作する 事	6月29日に実施する弊社イベントについて (概論)
3		講義・演習	チケットの価値と顧客の差別化	ビジネスとしてのプレミアムシートの推奨（ファーストクラス／エコノミーシートの構造について）
4		講義・演習	【実例①2/4】一つのライブイベントが決まるまでの流れ	6月29日に実施する弊社イベントについてのライブ制作の受注方式について
5		講義・演習	売れない、伸びない、赤字が前提。ライブのマイナス構築	ライブ予算の間違った組み方。何の為にライブをやっているのかを明確に考える。
6		講義・演習	【実例①3/4】一つのライブイベントの内容をまとめる	6月29日に実施する弊社イベントを素材にした実際の進め方
7		講義・演習	アイデアと現実化の接点	演出家の意味、マネジメントのライブへの向き合い方を理解する。
8		講義・演習	【実例①4/4】一つのライブイベントが評価される	6月29日に実施する弊社イベントの成功／失敗を分けるポイント
9		講義・演習	コストカットの本音	安く仕上げる事が、無価値という矛盾を知り、現在のコンサートを考察する。
10		講義・演習	【実例特別編】	ライブイベントを終えて／総括
11		講義・演習	音楽ビジネスと著作権との接点	ビジネスにおける著作権の位置付けとACPCの存在を理解する。
12		講義・演習	【実例特別編】	予算の精算の方法→「第2回目」を実現する判断
13		講義・演習	屋外型音楽フェスと通常コンサートの違い	地方創生・補助金・特性など絡まる複数の要素を理解する。
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング概論(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	研井 陽介
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンターテインメントの「マーケティング」というカテゴリーに向き合う。偏っていない自由な発想、立場によって異なる考え方、人間を相手にする事の難しさ、そんな事を「アーティスト」という言葉を切り口に実際に業界で活躍する方を参考に学んでいく。						
到達目標	アーティストに関連するもの(ライブ・音源・グッズ)が売れる仕組みについて考えられるようになり、アーティストという「人間」を対象としてマーケティングを行う大変さがわかるようになる。						
評価方法と基準	1)定期テスト80% 2)平常点20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	最新ツールの導入タイミング	多世代との対峙と分析、グレー層に向けての発信方法とブルーオーシャンという言葉を理解しよう。
2		講義・演習	【実例②2/5】ライブを作ってみる・・・というリスク	「ライブを作ってみる」という事に対して、どのように向き合うべきなのか？
3		講義・演習	マーケティングと根性論	効率化の限界と根性論の効率化とスマートにすると生まれる反発を考察する。
4		講義・演習	【実例②3/5】ライブを本当に作ってみる？	「ライブを作ってみる」にどの程度の興味を持てるのか？
5		講義・演習	ゼロからの構築	模倣の意味と先達への敬意新規格の創出という誤認識の理解
6		講義・演習	【実例④4/5】ライブを宣伝してみる	ライブイベントの宣伝方法、ルーティーンと革新的アイデア
7		講義・演習	ブランディングを考える	分析と解析をし、ブレない・成長するカッコよさを考える。
8		講義・演習	【実例②5/5】ライブの軸を見直す	総合的に理にかなっているのかを考えてみる
9		講義・演習	クリエイティブを考える	創作に対する向き合い方とジグソウの特性を理解し分析する。
10		講義・演習	【実例特別編】	ライブを作ってみた／その意味と意義
11		講義・演習	プロモーションを考える	誇大広告の必要性和、現代のプロモーションを理解する。
12		講義・演習	【実例特別編】	ライブを本気で反省してみた／どこまで考えるべきだったか？
13		講義・演習	後期まとめ①	今までの講義内容を改めて理解する
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	企画プロデュース・プラクティスワークショップ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	片桐豊
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンタメ業界(社会)は、仕事やプロジェクトを遂行する上で、様々な職業の方達が関わっており、それぞれの職種やポジションで多様な役割を担い、その役割を果たすことで成立しています。この授業では、仕事や就職に対して近視眼的かつ短絡的に考えがちな学生たちの視野を広げ、大局を洞察しながら自分が携わっているプロジェクトの中で、全体の成功を目指して自分の役割を果たしていけるよう、多様な視点や深い洞察力を持つためのヒントを教授、さらには業界の歴史や仕組みなど、上の世代の先輩たちと働く上で必要な心構えも伝授します。また、学生が提案するアイデアを元に学科横断的なオーガナイズやプロデュースワークを実践するイベント制作を行い、ゼロから1を生み出す楽しさや、やり遂げることの充実感を体感し、そうした経験から学生自身の将来目標の選択肢や可能性を広げる場とする。						
到達目標	これまで知らなかった職種の存在や立場を認識し、業界の全体像を理解できるようになる。 企画書や台本の文章の文脈から行間を読み取り、作り手の意図やターゲットに対する訴求ポイントを考察できるようになる。 自分の意思やアイデアを言語化し、他者に伝わるように説明できるようになる。(コミュニケーション・プレゼンスキルの向上) 独善的な行動ではなく、他者の意見を尊重しチームとして協調しながらアジェンダ(課題)に取り組めるようになる。 対外的あるいは社会への影響も意識した俯瞰的視点を持ちながら、目の前の課題に取り組めるようになる。 日本や世界の歴史、宗教やイデオロギーも含め、これからの時代のエンタメを生み出すために世の中のことに興味を持てるようになる。						
評価方法と基準	■出席率:50%(勤勉さ、持続性、基礎体力) ■受講態度:25% (アイデアや協調性、質問力、キャラクターなどを含む人間性) ■到達目標に対する達成度:25%(業務遂行スキル)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業ガイダンス／自己紹介(講師＆各生徒)	現時点での将来目標を語れるようにしておく
2		講義・演習	エンタメ業界の仕事概論 番組やコンサート、イベントに関わる職種と役割	ライブやコンサート、舞台等のパンフレットのな の(スタッフクレジット掲載)を見つけてみる
3		講義・演習	文章や台本を読み解く(考察・分析する)ために 必要となる知識やスキルについて	自分が得意な分野、苦手な分野を認識しておく
4		講義・演習	学校内定番イベントを企画しよう 企画の発想の仕方と企画書の書き方	企画考案にむけての疑問点・質問を考えてお く
5		講義・演習	今注目しているエンタメコンテンツとその魅力 の考察	好きなコンテンツを選び、その魅力につい て 言語化、分析説明する準備をしておく
6		講義・演習	企画プレゼン① 生徒が考えたイベント企画の発表	学内定番イベントの企画考案
7		講義・演習	企画プレゼン② 生徒が考えたイベント企画の発表	学内定番イベントの企画考案
8		講義・演習	企画会議 提案された企画のブラッシュアップミーティング	他者の企画へのプラスアイデアの検討
9		講義・演習	企画会議 実施プラン検討・実現に向けた留意点	実施に向けた疑問点を挙げておく
10		講義・演習	実施プランの決定と役割分担 担当業務における課題の共有	学校各所への相談調整
11		講義・演習	企画遂行経過報告とアドバイス、意見交換 ●業界考察(メディアと芸能プロの関係)	学校各所や対外的な交渉、役割ごとの準備
12		講義・演習	企画実施に向けた段階チェックと広報計画 ●業界考察(SNSとの関わり方)	学校HP等での宣伝活動
13		講義・演習	企画遂行経過報告とアドバイス、意見交換 ●業界考察(エンタメ業界と広告企業の関係)	学校各所や対外的な交渉、役割ごとの準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	企画プロデュース・プラクティスワークショップ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	片桐豊
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンタメ業界(社会)は、仕事やプロジェクトを遂行する上で、様々な職業の方達が関わっており、それぞれの職種やポジションで多様な役割を担い、その役割を果たすことで成立しています。この授業では、仕事や就職に対して近視眼的かつ短絡的に考えがちな学生たちの視野を広げ、大局を洞察しながら自分が携わっているプロジェクトの中で、全体の成功を目指して自分の役割を果たしていけるよう、多様な視点や深い洞察力を持つためのヒントを教授、さらには業界の歴史や仕組みなど、上の世代の先輩たちと働く上で必要な心構えも伝授します。また、学生が提案するアイデアを元に学科横断的なオーガナイズやプロデュースワークを実践するイベント制作を行い、ゼロから1を生み出す楽しさや、やり遂げることの充実感を体感し、そうした経験から学生自身の将来目標の選択肢や可能性を広げる場とする。						
到達目標	これまで知らなかった職種の存在や立場を認識し、業界の全体像を理解できるようになる。 企画書や台本の文章の文脈から行間を読み取り、作り手の意図やターゲットに対する訴求ポイントを考察できるようになる。 自分の意思やアイデアを言語化し、他者に伝わるように説明できるようになる。(コミュニケーション・プレゼンスキルの向上) 独善的な行動ではなく、他者の意見を尊重しチームとして協調しながらアジェンダ(課題)に取り組めるようになる。 対外的あるいは社会への影響も意識した俯瞰的視点を持ちながら、目の前の課題に取り組めるようになる。 日本や世界の歴史、宗教やイデオロギーも含め、これからの時代のエンタメを生み出すために世の中のことに興味を持てるようになる。						
評価方法と基準	■出席率:50%(勤勉さ、持続性、基礎体力) ■受講態度:25% (アイデアや協調性、質問力、キャラクターなどを含む人間性) ■到達目標に対する達成度:25%(業務遂行スキル)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	イベント実施を受けての反省会	夏休み期間にイベント実施
2		講義・演習	学校内定番イベントを企画しよう 企画の発想の仕方と企画書の書き方	企画考案にむけての疑問点・質問を考えておく
3		講義・演習	今注目しているエンタメコンテンツとその魅力の考察	好きなコンテンツを選び、その魅力について言語化、分析説明する準備をしておく
4		講義・演習	企画プレゼン① 生徒が考えたイベント企画の発表	学内定番イベントの企画考案
5		講義・演習	企画プレゼン② 生徒が考えたイベント企画の発表	学内定番イベントの企画考案
6		講義・演習	企画会議 提案された企画のブラッシュアップミーティング	他者の企画へのプラスアイデアの検討
7		講義・演習	企画会議 実施プラン検討・実現に向けた留意点	実施に向けた疑問点を挙げておく
8		講義・演習	実施プランの決定と役割分担 担当業務における課題の共有	学校各所への相談調整
9		講義・演習	企画遂行経過報告とアドバイス、意見交換 ●業界考察(メディアと芸能プロの関係)	学校各所や対外的な交渉、役割ごとの準備
10		講義・演習	企画実施に向けた段階チェックと広報計画 ●業界考察(SNSとの関わり方)	学校HP等での宣伝活動
11		講義・演習	企画遂行経過報告とアドバイス、意見交換 ●業界考察(エンタメ業界と広告企業の関係)	学校各所や対外的な交渉、役割ごとの準備
12		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ①	レポート提出
13		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ①	レポート提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ②	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ②	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(3) (チーム制作プロジェクトA(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岡秀樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンターティメントの発信地である「渋谷」を拠点に活動しているライブハウスや音楽施設を知り、企業とプロジェクトを組み、生きたイベント企画・制作・運営・プロモーションを学ぶ。 即戦力になる人材育成に向け実践力を身につける。						
到達目標	精度の高い企画書、実施要項、運営マニュアル、プロモーションプランを学生主体で作成できるようにする。 イベント企画では、「独創的な企画を提案できる」こと、制作では「人・もの・お金・時間を管理」できること、運営では「進行を管理することができ、安心・安全な運営を円滑に行う」ことができること、プロモーションでは「既成概念に捉われること無く、自分たちに何ができるかを徹底的に追求し、時代に沿ったプロモーションを提案し実行」することを目指す。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価 30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価 40% メール等のレスポンスの速さ、丁寧さ、プロモーション実行具合を評価30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新年度オリエンテーションの実施 (アイスブレイク、ブレインストーミング、映像鑑賞を終えての討論)	クラスでのコミュニケーションの振り返り
2		講義・演習	コンサートの企画・制作・運営の考え方を学び、2年生が運営・制作を行う新入生歓迎ライブを見学する。	新入生歓迎ライブ出演者プロフィール把握、ステージセット把握
3		講義・演習	エンターティメント施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べる
4		講義・演習	エンターティメント施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究
5		講義・演習	エンターティメント施設取材③(取材内容、取材方法を検討)	各自インタビュー記事の研究
6		講義・演習	エンターティメント施設取材④(プレゼンテーション準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表の作成
7		講義・演習	エンターティメント施設取材⑤(プレゼンテーション実施/報告書の作成)	班員にて発表シミュレーション
8		講義・演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容の説明・企業を紹介・担当者自己紹介)	エンターティメント取材報告書完成・提出
9		講義・演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	企業研究(歴史、理念、業務内容)
10		講義・演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書:プロモーションプランの作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11		講義・演習	企業プロジェクト④(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	プロモーションスケジュール作成、運営マニュアルラフ作成
12		講義・演習	企業プロジェクト⑤(イベント当日の運営・制作を実践)口	運営マニュアルの読み合わせ
13		講義・演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(3) (チーム制作プロジェクトB(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンターティメントの発信地である「渋谷」を拠点に活動しているライブハウスや音楽施設を知り、企業とプロジェクトを組み、生きたイベント企画・制作・運営・プロモーションを学ぶ。 即戦力になる人材育成に向け実践力を身につける。						
到達目標	精度の高い企画書、実施要項、運営マニュアル、プロモーションプランを学生主体で作成できるようにする。 イベント企画では、「独創的な企画を提案できる」こと、制作では「人・もの・お金・時間を管理」できること、運営では「進行を管理することができ、安心・安全な運営を円滑に行う」ことができること、プロモーションでは「既成概念に捉われることなく、自分たちに何ができるかを徹底的に追求し、時代に沿ったプロモーションを提案し実行」することを目標とする。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価 30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価 40% メール等のレスポンスの速さ、丁寧さ、プロモーション実行具合を評価30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新年度オリエンテーションの実施 (アイスブレイク、ブレインストーミング、映像鑑賞を終えての討論)	クラスでのコミュニケーションの振り返り
2		講義・演習	コンサートの企画・制作・運営の考え方を学び、2年生が運営・制作を行う新入生歓迎ライブを見学する。	新入生歓迎ライブ出演者プロフィール把握、ステージセット把握
3		講義・演習	エンターティメント施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べる
4		講義・演習	エンターティメント施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究
5		講義・演習	エンターティメント施設取材③(取材内容、取材方法を検討)	各自インタビュー記事の研究
6		講義・演習	エンターティメント施設取材④(プレゼンテーション準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表の作成
7		講義・演習	エンターティメント施設取材⑤(プレゼンテーション実施/報告書の作成)	班員にて発表シミュレーション
8		講義・演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容の説明・企業を紹介・担当者自己紹介)	エンターティメント取材報告書完成・提出
9		講義・演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	企業研究(歴史、理念、業務内容)
10		講義・演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書:プロモーションプランの作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11		講義・演習	企業プロジェクト④(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	プロモーションスケジュール作成、運営マニュアルラフ作成
12		講義・演習	企業プロジェクト⑤(イベント当日の運営・制作を実践)□	運営マニュアルの読み合わせ
13		講義・演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(3) (チーム制作プロジェクトC(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大島直子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を学習する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験学習する						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されても対応できる基礎知識を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施時における様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要なレベルの実務力を習得する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新年度オリエンテーション(アイスブレイク、ブレインストーミング、映像鑑賞、討論)	新入生歓迎ライブの打ち合わせ
2		講義・演習	新入生歓迎ライブの運営・制作。	運営マニュアルの事前読み合わせ
3		講義・演習	エンタメ施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べて提出
4		講義・演習	エンタメ施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究を行い資料として提出
5		講義・演習	エンタメ施設取材③(取材内容、取材方法検討)	インタビュー記事を研究し、インタビュー内容を提出
6		講義・演習	エンタメ施設取材④(プレゼン準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表を作成し提出
7		講義・演習	エンタメ施設取材⑤(プレゼンテーション/報告書作成)	班員にて発表シミュレーションを行う
8		講義・演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容説明、企業紹介、担当者自己紹介)	エンタメ取材報告書を作成し提出する
9		講義・演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	関わる企業を研究(歴史、理念、業務内容)し、資料として提出
10		講義・演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書:プロモーションプラン作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11		講義・演習	企業プロジェクト④(プロモーション実践/運営マニュアル作成)	プロモーションスケジュールを作成、運営マニュアルラフ作成
12		講義・演習	企業プロジェクト⑤(イベント当日の運営を実践)	運営マニュアルの事前読み合わせ
13		講義・演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書作成)	報告会で発表する内容まとめ
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(4) (チーム制作プロジェクトA(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岡秀樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	企業とプロジェクトを組み、イベント企画・制作・運営・プロモーションを、アクティブラーニングによる主体的な学びをゼミ方式で実践する。						
到達目標	企業プロジェクトでは動員や収益など内容だけでなく収支にも着目し、数字をクリアするための方法論を検討し実践する。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価 30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価 40% 収支を測る方法論を理解し、現場での実行力を評価 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	企業プロジェクト①(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	前年度のプロジェクト内容を把握し資料として提出する。
2		講義・演習	企業プロジェクト②(プロジェクト企画書/プロモーションプランの作成)	企画書作成に必要な情報集め(アーティスト情報、アー写など)、SNS配信予定表を提出する。
3		講義・演習	企業プロジェクト③(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	運営マニュアルに必要な情報を提出する。(図面、セット図、セットリストなど)
4		講義・演習	企業プロジェクト④(イベント当日の運営)	運営マニュアル読み込み各メンバーで打ち合わせ
5		講義・演習	企業プロジェクト⑤(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ提出。企業への御礼文送信。
6		講義・演習	自主企画①(班分け/アイデアフラッシュ)	A4 1枚に提案したいイベント内容をまとめて提出。
7		講義・演習	自主企画②(コンセプト決め/企画書作成)	A4 で出演者向けに企画書を作成し提出。
8		講義・演習	自主企画③(ブッキング/実施要綱/プロモーションプラン作成)	ブッキング用メール文の作成。プロモーション先リストを作成する。
9		講義・演習	自主企画④(プロモーションツール/運営マニュアル作成)	印刷業者・グッズ製作会社調べ、運営マニュアルに必要な情報を集める(図面、セット図、セットリストなど)
10		講義・演習	自主企画⑤(顔合わせ兼打ち合わせ)	各セクション問題無く進められるように懸念点や疑問点を洗い出しておく。
11		講義・演習	自主企画⑥(運営シミュレーション)口	備品が揃っているか確認し、足りないものは購入する。
12		講義・演習	自主企画⑦(イベント当日の運営)	運営マニュアル読み込み各メンバーで打ち合わせ
13		講義・演習	自主企画⑧(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ、御礼文送信
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(4) (チーム制作プロジェクトB(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大島直子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を学習する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験学習する						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されても対応できる基礎知識を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施時における様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要なレベルの実務力を習得する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新年度オリエンテーション(アイスブレイク、ブレインストーミング、映像鑑賞、討論)	新入生歓迎ライブの打ち合わせ
2		講義・演習	新入生歓迎ライブの運営・制作。	運営マニュアルの事前読み合わせ
3		講義・演習	エンタメ施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べて提出
4		講義・演習	エンタメ施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究を行い資料として提出
5		講義・演習	エンタメ施設取材③(取材内容、取材方法検討)	インタビュー記事を研究し、インタビュー内容を提出
6		講義・演習	エンタメ施設取材④(プレゼン準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表を作成し提出
7		講義・演習	エンタメ施設取材⑤(プレゼンテーション/報告書作成)	班員にて発表シミュレーションを行う
8		講義・演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容説明、企業紹介、担当者自己紹介)	エンタメ取材報告書を作成し提出する
9		講義・演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	関わる企業を研究(歴史、理念、業務内容)し、資料として提出
10		講義・演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書:プロモーションプラン作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11		講義・演習	企業プロジェクト④(プロモーション実践/運営マニュアル作成)	プロモーションスケジュールを作成、運営マニュアルラフ作成
12		講義・演習	企業プロジェクト⑤(イベント当日の運営を実践)	運営マニュアルの事前読み合わせ
13		講義・演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書作成)	報告会で発表する内容まとめ
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(4) (チーム制作プロジェクトC(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大島直子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を下級生に説明しながら、理解度をあげる学習をする [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についてより正確に処理できるよう学習をする [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験し、将来に備えた学習をする						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されてた際に、自主的に準備・対応できる速度感を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施時におけるお客様対応や、様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者として即時にインターンまたは社員として必要なレベルの実務力を養成する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	活動方針設定会議	会議資料準備
2		講義・演習	ライブイベント実施に向けて(打合せ)	打合せ準備資料の作成
3		講義・演習	ライブイベントの告知と準備	イベント実施打合せ・プロモーション
4		講義・演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]	イベント後の終了報告書記入
5		講義・演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]	イベント後の終了報告書記入
6		講義・演習	ライブイベント実施に向けて(打合せ)	ライブ映像の編集処理
7		講義・演習	ライブイベントの告知と準備	運営マニュアルの作成
8		講義・演習	ライブイベント実施[QUEENS]	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
9		講義・演習	ライブイベントの告知と準備	イベント実施打合せ・プロモーション
10		講義・演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]	イベント後の終了報告書記入
11		講義・演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]	イベント後の終了報告書記入
12		講義・演習	ライブイベントの内容企画	企画書の作成・イベント企画打合せ
13		講義・演習	ライブイベントの告知と準備	運営マニュアルの作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vectorworks (3) (Vectorworks Basic (3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成の知識、スキルをを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期授業についての概要説明、MACの基本操作を学ぶ。	基本的なPC操作の復習レポートを作成。
2		講義・演習	ベクターワークスに慣れる①	授業内容の復習レポートを作成。
3		講義・演習	ベクターワークスに慣れる②	授業内容の復習レポートを作成。
4		講義・演習	直線・曲線を自由に描く	直線、曲線を描く復習レポートを作成。
5		講義・演習	多角線を描く	多角線を描く復習レポートを作成。
6		講義・演習	図形を描く	図形を描く復習レポートを作成。
7		講義・演習	線と図形を組み合わせて描く	図形を描く復習レポートを作成。
8		講義・演習	縮尺を理解し、慣れて使う①	授業内容の復習レポートを作成。
9		講義・演習	縮尺を理解し、慣れて使う②	授業内容の復習レポートを作成。
10		講義・演習	劇場図面を理解する①	様々な劇場の図面を調べてみる。
11		講義・演習	劇場図面を理解する②	様々な劇場の図面を調べてみる。
12		講義・演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
13		講義・演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vectorworks(3) (Vectorworks Advance(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ライブハウスから劇場・アリーナまでの各様々なサイズの公演図面を作成する。						
到達目標	実際の公演で使用される舞台図面を作成するスキルを身につける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本操作復習・確認	基本的なPC操作の復習レポートを作成。
2		講義・演習	図面を作成①:ライブハウスサイズ	ライブハウスサイズ図面作成の復習レポートを作成。
3		講義・演習	図面を作成②:ライブハウスサイズ	ライブハウスサイズ図面作成の復習レポートを作成。
4		講義・演習	図面を作成③:ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。
5		講義・演習	図面を作成④:学園祭セット図作成	学園祭図面作成の復習レポートを作成。
6		講義・演習	図面を作成⑤:学園祭まとめ	学園祭資料を整理
7		講義・演習	図面を作成⑥:ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。
8		講義・演習	図面を作成⑦:ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。
9		講義・演習	図面を作成⑧:舞台セット図基本	舞台セット図作成の復習レポートを作成。
10		講義・演習	図面を作成⑨:舞台セット図応用	舞台セット図作成の復習レポートを作成。
11		講義・演習	図面を作成⑩:舞台平面図作成	舞台平面図作成の復習レポートを作成。
12		講義・演習	図面を作成⑪:舞台断面図制作	舞台平面図作成の復習レポートを作成。
13		講義・演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vectorworks (4) (Vectorworks Basic (4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成・照明仕込み図作成の知識、スキルを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期授業内容のふりかえり	前期授業内容の復習をしておく。
2		講義・演習	袖幕配置、照明仕込み図のシンボル登録方法を学ぶ。	袖幕、シンボル登録の復習レポートを作成。
3		講義・演習	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
4		講義・演習	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
5		講義・演習	舞台総合図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
6		講義・演習	舞台図面の色つけと照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	色付け、仕込み図の復習レポートを作成。
7		講義・演習	舞台図面のオリジナル図作成と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	オリジナル図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
8		講義・演習	舞台のデザイン図と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	デザイン図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
9		講義・演習	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
10		講義・演習	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
11		講義・演習	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
12		講義・演習	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
13		講義・演習	作成した図面を活かし、進級制作展の舞台、照明を仕込む。	進級制作展の図面作成と資料の整理
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vectorworks(4) (Vectorworks Advance(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ライブハウスから劇場・アリーナまでの様々なサイズの公演図面を作成する。						
到達目標	実際の公演で使用される舞台図面を作成するスキルを身につける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期内容を確認	基本的なベクターワークスの復習レポートを作成。
2		講義・演習	シンボル登録の理解	シンボル登録について復習レポートを作成。
3		講義・演習	シンボル登録の展開操作	シンボル登録について復習レポートを作成。
4		講義・演習	立体図形を創る	立体図形について復習レポートを作成。
5		講義・演習	立面図を作る①	立面図について復習レポートを作成。
6		講義・演習	立面図を作る②	立面図について復習レポートを作成。
7		講義・演習	外部リハーサル会場の図面作成①	リハーサル会場図面の復習レポートを作成。
8		講義・演習	外部リハーサル会場の図面作成②	リハーサル会場図面の復習レポートを作成。
9		講義・演習	we are!TSM渋谷演目別図面展開①	舞台セット図の復習レポートを作成。
10		講義・演習	we are!TSM渋谷演目別図面展開②	舞台セット図の復習レポートを作成。
11		講義・演習	we are!TSM渋谷演目別図面展開③	舞台セット図の復習レポートを作成。
12		講義・演習	we are!TSM渋谷演目別図面展開④	舞台セット図の復習レポートを作成。
13		講義・演習	卒業進級制作展の舞台進行チームとして参加。コンサートイベント舞台の図面を作成する。	卒業進級制作展の図面作成と資料の整理
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、卒業進級制作展の準備を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台スタッフ基礎講座(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台美術、デザイン、PA、照明、特効等の舞台制作及び舞台監督に於いて 有益な他セクションの仕事を学ぶ講義及び実技						
到達目標	舞台美術、デザイン、舞台制作、PA、照明、楽器、特効等の具体的内容を習得して 将来的な仕事での知識及び即戦力に繋げる						
評価方法と基準	1) 定期試験90% 2) 小テスト5% 3) レポート・論文5% 1) 定期テスト50% 2) 出席数50% 1) 定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーションコンサートツアーの仕組みを理解	授業日時間を確実に理解する日本の都道府県名を調べる
2		講義・演習	舞台備品に関して理解する	舞台備品とは何かを調べる
3		講義・演習	PAの基礎知識に関して理解する	PAとは何かを調べる
4		講義・演習	照明の基礎知識に関して理解する	照明とは何かを調べる
5		講義・演習	映像の基礎知識に関して理解する	映像とは何かを調べる
6		講義・演習	映像機材及びシステムに関して理解する	映像の機材とは何かを調べる
7		講義・演習	中間試験及び復習講義	講義の内容の復習をする
8		講義・演習	PA機材及びシステムを理解する	PA機材の種類システムを調べる
9		講義・演習	照明機材及びシステムを理解する	照明機材の種類システムを調べる
10		講義・演習	舞台での足場に関して理解する	舞台での足場とは何か調べる
11		講義・演習	楽器に関して理解する	楽器の種類を調べる
12		講義・演習	特殊効果に関して理解する	特殊効果とは何かを調べる
13		講義・演習	前期テスト(筆記及び実技)	前期の全ての授業内容の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台スタッフ基礎講座(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台美術、デザイン、PA、照明、特効等の舞台制作及び舞台監督に於いて 有益な他セクションの仕事を学ぶ講義及び実技						
到達目標	舞台美術、デザイン、舞台制作、PA、照明、楽器、特効等の具体的内容を習得して 将来的な仕事での知識及び即戦力に繋げる						
評価方法と基準	1) 定期試験90% 2) 小テスト5% 3) レポート・論文5% 1) 定期テスト50% 2) 出席数50% 1) 定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーションコンサートツアーの仕組みを理解	授業日時間を確実に理解する日本の都道府県名を調べる
2		講義・演習	舞台備品に関して理解する	舞台備品とは何かを調べる
3		講義・演習	PAの基礎知識に関して理解する	PAとは何かを調べる
4		講義・演習	照明の基礎知識に関して理解する	照明とは何かを調べる
5		講義・演習	映像の基礎知識に関して理解する	映像とは何かを調べる
6		講義・演習	映像機材及びシステムに関して理解する	映像の機材とは何かを調べる
7		講義・演習	中間試験及び復習講義	講義の内容の復習をする
8		講義・演習	PA機材及びシステムを理解する	PA機材の種類システムを調べる
9		講義・演習	照明機材及びシステムを理解する	照明機材の種類システムを調べる
10		講義・演習	舞台での足場に関して理解する	舞台での足場とは何か調べる
11		講義・演習	楽器に関して理解する	楽器の種類を調べる
12		講義・演習	特殊効果に関して理解する	特殊効果とは何かを調べる
13		講義・演習	前期テスト(筆記及び実技)	前期の全ての授業内容の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音響学舞台機構調整士Ⅱ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台機構調整技能検定3級試験対策授業。試験の合格を目指す。問題集を利用した筆記試験対策と作業試験対策として反復練習を繰り返し行う。						
到達目標	7月に実施の3級舞台機構調整技能士(厚生労働省)の取得。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	講師紹介、授業の進め方、教科書の確認、3級舞台機構調整技能士について学習する。	シラバス、教科書、確認しておく。
2		講義・演習	2018年度筆記試験の解説を行い、過去問題に取り組む。	2018年度の筆記試験問題を自習する。
3		講義・演習	2017年度過去問題に取り組む、検証する。作業試験についての流れを理解する。	2017年度の筆記試験問題を自習する。
4		講義・演習	2016年度過去問題に取り組む、検証する。作業試験の内容について把握する。	2016年度の筆記試験問題を自習する。
5		講義・演習	2015年度過去問題に取り組む、検証する。作業試験の練習をする。	2015年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。
6		講義・演習	2014年度過去問題に取り組む、検証する。作業試験の練習をする。	2014年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。
7		講義・演習	2013年度過去問題に取り組む、検証する。作業試験の練習をする。	2013年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。
8		講義・演習	2012年度過去問題に取り組む、検証する。作業試験が制限時間内に出来るよう練習する。	2012年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。
9		講義・演習	作業試験仕上げ。一人ひとりの問題点を洗い出し修正する。	作業試験の練習を自習する。
10		講義・演習	作業試験仕上げ。一人ひとりの問題点を洗い出し修正する。	作業試験の練習を自習する。
11		講義・演習	作業試験の最終調整を行い、合格を目指す。	作業試験の練習を自習する。
12		講義・演習	試験の振り返りを行い、問題点改善に取り組む。	作業試験の練習を自習する。
13		講義・演習	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、仕込み、バラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ablton Live(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	阿瀬 文彦
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	コンサートや舞台などの現場を想定したAbleton Liveの使用法の学習。						
到達目標	・PA現場で必須となっているAbleton Liveのオペレートを習得。 ・現場でのLiveセットの仕込みをスピーディーに行える。 ・オーディオトラック、MIDIトラックの編集技術を習得。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:70%) 出席率30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	起動方法からLiveの初期設定、 基本概念と特徴、PA現場での具体的な活用方法	授業内容の復習
2		講義・演習	Ableton Liveセッションビューについて	セッションビューについて復習
3		講義・演習	Ableton Liveアレンジメントビューについて	アレンジメントビューについて復習
4		講義・演習	Ableton LiveのWarpモードでの各パラメーターの特性	授業で学んだ特性について復習
5		講義・演習	舞台を想定したポン出しの仕込み1	仕込みと手順について復習1
6		講義・演習	舞台を想定したポン出しの仕込み2	仕込みと手順について復習2
7		講義・演習	MIDIコントローラーの設定と操作	設定と操作について復習
8		講義・演習	ライブ・コンサートでのマニピュレート技術を学習	授業内容の復習
9		講義・演習	ライブ・コンサートでのオケの仕込み	授業内容の復習
10		講義・演習	演者のイヤモニへ送るクリック・トラックの作成とルーティングを学習	授業内容の復習
11		講義・演習	ライブ・トラックのサイズや構成の変更を学習	授業内容の復習
12		講義・演習	内蔵エフェクトについて学習	授業で紹介した各エフェクトについて復習
13		講義・演習	実技試験	試験で作成したLiveセットを再度確認し内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ablton Live(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	阿瀬 文彦
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	コンサートや舞台などの現場を想定したAbleton Liveの使用法の学習。						
到達目標	・PA現場で必須となっているAbleton Liveのオペレートを習得。 ・現場でのLiveセットの仕込みをスピーディーに行える。 ・オーディオトラック、MIDIトラックの編集技術を習得。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:70%) 出席率30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Ableton Liveでのオーディオレコーディング実習	授業内容の復習
2		講義・演習	前回の授業でレコーディングしたオーディオ素材のエディット作業	学習したエディット方法の復習
3		講義・演習	Ableton Liveでマルチマイクで収録したドラム素材のミックス処理	学習したミックスの復習
4		講義・演習	Ableton Liveでの楽曲パラデータを使用してのミックスを学習1	授業で配布したデータの確認と整理1
5		講義・演習	Ableton Liveでの楽曲パラデータを使用してのミックスを学習2	授業で配布したデータの確認と整理2
6		講義・演習	MIDIトラックでの基本的な打ち込みを学習1	授業内容の復習
7		講義・演習	MIDIトラックでの基本的な打ち込みを学習2	授業内容の復習
8		講義・演習	Ableton Live内蔵サンプラーの学習	授業内容の復習
9		講義・演習	Ableton Live内蔵シンセサイザーの学習	授業内容の復習
10		講義・演習	Ableton Liveのグループクオンタイズについて学習	オーディオのクオンタイズについて復習
11		講義・演習	サンプルエディタを使用したオーディオのタイミング補正を学習	タイミング補正について復習
12		講義・演習	セッションビューを使用してのライブパフォーマンス。素材仕込み	授業で作成したデータの整理
13		講義・演習	実技試験	試験で作成したLiveセットを再度確認し内容をしっかり復習する
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	峰松毅
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンターテインメント業界における著作権トラブルの実例を基本に、著作権の知識の大切さを伝える。						
到達目標	問題意識の向上。己の将来像を考え、社会生活とは何かを基本に分からない事を知る方法を伝える。						
評価方法と基準	出席率とテストの採点結果。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	著作権概要	宿題提示、一週間以内に提出
2		講義・演習	宿題提出に伴う議論	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
3		講義・演習	原盤権とは何か、契約交渉のテクニック	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
4		講義・演習	マネージャーとは何か、欧米との違い	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
5		講義・演習	プロデューサーとは何か前編	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
6		講義・演習	プロデューサーとは何か後編	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
7		講義・演習	企画力と著作権	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
8		講義・演習	論理性の大切さとプレゼンテーション	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
9		講義・演習	JASRACサイトの活用法	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
10		講義・演習	講演会と著作権	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
11		講義・演習	テスト	テスト
12		講義・演習	テスト回答と説明/作家契約とは何か	関連サイトを視聴
13		講義・演習	JASRAC VS YAMAHA (裁判辞令)	関連サイトを視聴
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	峰松毅
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンターテインメント業界における著作権トラブルの実例を基本に、著作権の知識の大切さを伝える。						
到達目標	問題意識の向上。己の将来像を考え、社会生活とは何かを基本に分からない事を知る方法を伝える。						
評価方法と基準	出席率とテストの採点結果。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	JASRAC三大問題	宿題提示、一週間以内に提出
2		講義・演習	アマチュアが自作楽曲を守る方法	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
3		講義・演習	youtuber炎上問題、原因と解決策	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
4		講義・演習	著作人格権とは何か	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
5		講義・演習	著作権基本問題	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
6		講義・演習	コンピューターと著作権	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
7		講義・演習	音楽配信・サブスクリプション問題	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
8		講義・演習	肖像権の深読み	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
9		講義・演習	サンプリングと著作権	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
10		講義・演習	レコード業界衰退の原因と解決策	関連サイトを案内、各自視聴させる次回に感想を述べさせる
11		講義・演習	テスト	テスト
12		講義・演習	テスト回答と説明/ライブ配信と著作権	関連サイトを視聴
13		講義・演習	著作権講義のまとめ/質疑応答	今までのふりかえり
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西田 剛
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、主にヨーロッパ及びアメリカで発生し発展してきた芸術音楽について概要を学びます。 その歴史(中世～20世紀)の中で対位法、オペラ、無調性音楽などに触れ、形式を理解するとともに、音楽的な視野を広めます。						
到達目標	西洋音楽の進化について深い理解を示すことができる。それは、楽曲を聴いた時の分析力となり、その曲の歴史的な位置づけ・意味合いがわかるようになる。 そして、自分の作品と西洋音楽を深いレベルで結びつけることができるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 出席数40%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	中世の音楽音楽の始まり～グレゴリオ聖歌 教会旋法	授業の進め方(資料、音源、DVD、実演)の確認 レベルチェック:小テスト 身近なクラシック曲(あし笛の踊り)	
2		講義・演習	ルネッサンス期の音楽	配布プリント(年表、ルネサンス、バッハのメヌエット) 目標再確認、メヌエットで学ぶ対位法、ルネサンス音楽を聴く	
3		講義・演習	バロック期の音楽(オペラ)	バロックという時代を知る。 オペラの始まり1600～バッハの死1750 名作: 蝶々夫人 椿姫 魔笛 コシ・ファン・トゥッテ 鑑賞	
4		講義・演習	J.S.バッハの音楽	バロックとバッハ 時代と背景 対位法、カノン形式について学習する 主よ、人の望みの喜びよ バッハベルのカノン オペラとオラトリオ などフ リントに沿って学習	
5		講義・演習	クラシック音楽”の時代(ハイドン、モーツァルト)	モーツァルトと古典派 ソナタ形式と交響曲の構成を理解する。K550 その他 協奏曲とはどんな音楽か説明できるようにする。	
6		講義・演習	ここまでのポイント整理	カノン形式、ソナタ形式、交響曲の構成、オペラとオラトリオの違い などを言葉で説明できる。	
7		講義・演習	クラシック音楽”の時代(ベートーベン)	ベートーヴェンと古典派～ロマン派の流れを理解する 交響曲「運命」(ソナタ形式)、エリーゼのために、月光など代表曲。 ハイド ン「天地創造」(オラトリオ)	
8		講義・演習	初期ロマン派の音楽(シューベルト、ベルリオーズ)	ロマン派①シューベルト ベルリオーズなど考察 ショパン、シューマン、リスト、メンデルスゾーン(主だったピアノ曲) を聴き ピアノという楽器の歴史を理解する。	
9		講義・演習	後期ロマン派の音楽(ワーグナー、マーラー)	ロマン派②ワーグナー、ヴェルディ、ヨハンシュトラウス2世、サン ＝サーンス、ドヴォルザーク。前週からの2週で、ロマン派の音楽が 重視した人間の感情や個性を理解する。	
10		講義・演習	20世紀の音楽(ストラヴィンスキー)	1882～1971 初期の3作品(『火の鳥』、『ペトルーシユカ』、『春の 祭典』)	
11		講義・演習	20世紀の音楽(シェーンベルグ) ケージ、ヴェーブルン 芸術音楽	シェーンベルクを中心に20世紀の音楽 12音技法の解説 音列を知る そ の他(サティ、ラヴェルなど)	
12		講義・演習	テスト	レポート提出	
13		講義・演習	振り返り	中世から20世紀までの時代を振り返り、曲の雰囲気かわかるようになったか 確認する。オーケストラの基本編成や様々なジャンル(交響曲、協奏曲、ピアノ 曲)を再認識する。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	音楽史(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西田 剛
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、日本におけるポップ・ロックミュージックの起こりから現代まで、その 発達の歴史を深く学びます。 その歴史や文化に触れ、広い視点で日本におけるポピュラー音楽の位置づけを概観することができる。						
到達目標	時代の流れに沿った、日本のロック・ポップスの発達を深く知ることで、自分たちの作り出す音楽と、日本のロック・ポップス の歴史・進化を結び付け評価することができる。 また、進路となる日本のミュージックシーンすなわち業界の先輩となる方々の功績を学ぶ。						
評価方法と基準	1) 定期テスト80% 2) 出席数20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業の進め方(資料、音源、映像等)の確認 日本のポップスの夜明け	美空ひばり、坂本九など昭和の象徴と呼べる大御所グループサウンズと呼ばれたブームを探る
2		講義・演習	フォークの時代	吉田拓郎、井上陽水、かぐや姫などフォークの名曲を歌詞にスポットを当てて時代背景を探る
3		講義・演習	日本流の本格派ロック～ニューミュージック	フラワートラベリングバンド、ユーミン、CHARなど、70年代のミュージックシーンを探る
4		講義・演習	歌謡曲とロック・ポップスの融合	山口百恵、松田聖子、中森明菜など当時のアイドル文化 職業作詞家／作曲家の存在を探る
5		講義・演習	ジャパニーズ・ニューウェイヴの衝撃	イエローマジックオーケストラ(YMO)を中心に日本独自のテクノポップ世界を探る
6		講義・演習	ロックの大衆化とバンドブーム①	チェッカーズ、レベッカ、BOOWYなどと共に80年代シーンを探る。メジャーデビューについて考察。バンドブーム
7		講義・演習	ロックの大衆化とバンドブーム②	TMネットワーク、ブルーハーツ、X JAPANなどと共に80年代シーンを探る。80年代という時代を、オーディションやCMタイアップなどから考察する。
8		講義・演習	90年代型ロックスターの登場①	L'Arc〜en〜Ciel、ドリカム、B'zなどと共に90年代シーンを探る
9		講義・演習	90年代型ロックスターの登場②	LUNA SEA、GLAYなどと共に90年代シーンを探る
10		講義・演習	オルタナティブ指向の定着とシーンの二極化	PIZZICATO FIVE、Mr.Children、椎名林檎などのアーティスト考察
11		講義・演習	90以降 多様化を謳歌する日本の音楽シーン	多様化するシーンを、Globe、MISIA、宇多田ヒカル、MONGOL 800などのアーティストと共に探る。インディーズ、アイドル文化、アニソンなど
12		講義・演習	テストの実施	レポート提出
13		講義・演習	テスト返却、総復習	全体のふりかえり&未来を探る
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台知識Advance (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	一年次に履修した「舞台知識」の講義をもとに、講義→演習のかたちで実際の現場で使用できる図面や資料の作成方法を学ぶ。 学内イベントミュージカル「明日への扉」を素材に実際にイベントで使用した上でより良いものにする。						
到達目標	舞台を作っていく具体的な流れ、段取りを把握し実際に現場で活用できる図面や資料を作成出来るようになる。						
評価方法と基準	課題の出来による評価を行う。 30% 期日までに課題が提出されているか・必要な資料が揃っているか・課題のテーマに則しているか・よく考えられたプランになっているかを評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	会場図面の作成方法を習得する	「明日への扉」で使用する会場の情報を収集しておく
2		講義・演習	「明日への扉」に使用する会場図面の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
3		講義・演習	進行プランの作成方法を習得する	「明日への扉」で使用する進行の情報を収集しておく
4		講義・演習	「明日への扉」に使用する進行プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
5		講義・演習	演出プランの作成方法を習得する	「明日への扉」で登場する演出の情報を収集しておく
6		講義・演習	「明日への扉」に使用する演出プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
7		講義・演習	セット図の作成方法を習得する	「明日への扉」で登場するセットの情報を収集しておく
8		講義・演習	「明日への扉」に使用するセット図の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
9		講義・演習	タイムテーブルの作成方法を習得する	「明日への扉」小屋入り～本番までの各セクションのスケジュールを収集しておく
10		講義・演習	「明日への扉」に使用するタイムテーブルの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
11		講義・演習	同セクション担当が打ち合わせを行い、各資料問題が無い確認する	問題や変更があった部分を修正し提出する。
12		講義・演習	授業内課題提出による試験を行う	試験にて出来なかった部分を復習する。
13		講義・演習	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ	本日の授業を基に出された課題を提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台知識Advance (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	一年次に履修した「舞台知識」の講義をもとに、講義→演習のかたちで実際の現場で使用できる図面や資料の作成方法を学ぶ。 学内イベントミュージカル「明日への扉」を素材に実際にイベントで使用した上でより良いものにする。						
到達目標	舞台を作っていく具体的な流れ、段取りを把握し実際に現場で活用できる図面や資料を作成出来るようになる。						
評価方法と基準	課題の出来による評価を行う。 30% 期日までに課題が提出されているか・必要な資料が揃っているか・課題のテーマに則しているか・よく考えられたプランになっているかを評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	会場図面の作成方法を習得する	卒業制作展で使用する会場の情報を収集しておく
2		講義・演習	卒業制作展に使用する会場図面の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
3		講義・演習	進行プランの作成方法を習得する	卒業制作展で使用する進行の情報を収集しておく
4		講義・演習	卒業制作展に使用する進行プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
5		講義・演習	演出プランの作成方法を習得する	卒業制作展で登場する演出の情報を収集しておく
6		講義・演習	卒業制作展に使用する演出プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
7		講義・演習	セット図の作成方法を習得する	卒業制作展で登場するセットの情報を収集しておく
8		講義・演習	卒業制作展に使用するセット図の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
9		講義・演習	タイムテーブルの作成方法を習得する	卒業制作展小屋入り～本番までの各セクションのスケジュールを収集しておく
10		講義・演習	卒業制作展に使用するタイムテーブルの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
11		講義・演習	同セクション担当が打ち合わせを行い、各資料問題が無いか確認する	問題や変更があった部分を修正し提出する
12		講義・演習	授業内課題提出による試験を行う	試験にて出来なかった部分を復習する
13		講義・演習	卒業制作展の舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサート演出研究(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	海外の最先端コンサート情報と近代コンサート事情の歴史を知り、考察することで、新しいコンサートを作るための柔軟な思考を育てる。 1)最先端のコンサート演出、情報を知る。 2)最先端の情報の収集が出来るようになる。 3)海外コンサートの実態を知る。						
到達目標	最先端のコンサートを知ること、未来を創ることができるスタッフを目指す。						
評価方法と基準	1. 実技試験(%) : 50% 2. 課題提出(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	最先端コンサートに興味を持とう	最先端のコンサートについて復習レポートを作成。
2		講義・演習	4/19-21のコーチェラフェスティバルを振り返る	コーチェラフェスティバルについて調べてレポートを作成。
3		講義・演習	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう1995-2004、2022	近代コンサートについて調べてレポートを作成。
4		講義・演習	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう2005-2013、2021	近代コンサートについて調べてレポートを作成。
5		講義・演習	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう2014-2020	近代コンサートについて調べてレポートを作成。
6		講義・演習	コンサートとは何か？なぜ行うのか？を考える	授業内容について復習レポートを作成。
7		講義・演習	みんなのオススメコンサート演出の共有(1)	オススメコンサートの資料を準備する。
8		講義・演習	U2を中心に近代の演出考察	U2というバンドについて調べてレポートを作成。
9		講義・演習	BrunoMars/2017-2018 TOURを中心に近代の演出考察	BrunoMarというバンドについて調べてレポートを作成。
10		講義・演習	みんなのオススメコンサート演出の共有(2)	オススメコンサートの資料を準備する。
11		講義・演習	海外フェス演出	海外フェスについて調べてレポートを作成。
12		講義・演習	イベントスタッフとして演出を学ぶ①	イベントの演出についてレポートを作成。
13		講義・演習	イベントスタッフとして演出を学ぶ②	イベントの演出についてレポートを作成。
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業に向けて事前調べと資料の準備、授業内容の復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサート演出研究(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	海外の最先端コンサート情報と近代コンサート事情の歴史を知り、考察することで、 新しいコンサートを作るための柔軟な思考を育てる。 1)最先端のコンサート演出、情報を知る。 2)最先端の情報の収集が出来るようになる。 3)海外コンサートの実態を知る。						
到達目標	最先端のコンサートを知ること、未来を創ることができるスタッフを目指す。						
評価方法と基準	1. 実技試験(%) : 50% 2. 課題提出(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	現在のアメリカコンサート事情	現在のアメリカコンサート事情について復習レポートを作成。
2		講義・演習	Drake/2018, the carters/2018, Travis Scott/2019などHIP-HOP	HIP-HOPについて調べてレポートを作成。
3		講義・演習	THIS IS ITでMichel Jacksonを知る	Michel Jacksonについて調べてレポートを作成。
4		講義・演習	INTER BEE見学(開催日によって前後あり)	INTER BEEを調べてレポートを作成。
5		講義・演習	MADONNA、JanetなどのGIRL'S POPクラシック	MADONNA、Janet
6		講義・演習	Areana、Katy、Taylor、GagaなどのGIRL'S POP最先端	Areana、Katy、Taylor、Gaga
7		講義・演習	IDOL(日本除く)コンサート	IDOL(日本除く)コンサート
8		講義・演習	コンサート機材最新情報(Lighting & Sound Americaを使用)	コンサート機材最新情報
9		講義・演習	オリンピック開会式演出(平昌2018、日本2021)	オリンピック開会式演出(平昌2018、日本2021)
10		講義・演習	オリンピック開会式演出(リオ2016、平昌2018)、リオ東京プレゼンテーション	オリンピック開会式演出(リオ2016、平昌2018)、リオ東京プレゼンテーション
11		講義・演習	最新コンサート情報についての考察(1)	授業内容の復習レポートを作成。
12		講義・演習	最新コンサート情報についての考察(2)	授業内容の復習レポートを作成。
13		講義・演習	Superbowl 振り返り。復習試験。	Superbowl についてレポートを作成。
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業に向けて事前調べと資料の準備、授業内容の復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語(3) (韓国語Basic(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	李美姫
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習したり発表する						
到達目標	①韓国語で日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③韓国語に対して抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期試験80% 2) 出席数 10% 3) 態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介・目標設定・関心事	ハングルの仕組み知る
2		講義・演習	数字を数える	書き方、覚える方法を知る
3		講義・演習	教科書とワークブックを活用	プリント配布
4		講義・演習	リスニングスキルを身につける	CD、Netflix,YouTubeで学習する
5		講義・演習	ペアで学習ができる	会話練習をする
6		講義・演習	韓国の文化を知る	日本の文化との違いを学習する
7		講義・演習	趣味、関心事について作文、発表	授業中に作文、発表する
8		講義・演習	食べ物、映画、ドラマについて話す	宿題として前もって作文してもらう
9		講義・演習	否定・賛成表現を練習する	単語を使って文章を作る練習
10		講義・演習	定期試験	試験前に復習をする
11		講義・演習	過去形を学習する	文法を活用して話す練習をする
12		講義・演習	ゲームをしながら学習する	日記の宿題を出す
13		講義・演習	韓国映画を見る	日本語字幕で鑑賞
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級1, 2、ワークブック、プリント、イラストとゴロで覚える韓国語				

科目名	韓国語(3) (韓国語Entry(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	李美姫
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習したり発表する						
到達目標	①韓国語で日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③韓国語に対して抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期試験80% 2) 出席数 10% 3) 態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介・目標設定・関心事	ハングルの仕組み知る
2		講義・演習	ハングル文字を覚える	書き方、覚える方法を知る
3		講義・演習	教科書とワークブックを活用	プリント配布
4		講義・演習	リスニングスキルを身につける	CD、Netflix,YouTubeで学習する
5		講義・演習	ペアで学習ができる	会話練習をする
6		講義・演習	韓国の文化を知る	日本の文化との違いを学習する
7		講義・演習	趣味、関心事について作文、発表	授業中に作文、発表する
8		講義・演習	食べ物、映画、ドラマについて話す	宿題として前もって作文してもらう
9		講義・演習	否定・賛成表現を練習する	単語を使って文章を作る練習
10		講義・演習	定期試験	試験前に復習をする
11		講義・演習	可能形を学習する	文法を活用して話す練習をする
12		講義・演習	ゲームをしながら学習する	日記の宿題を出す
13		講義・演習	時間・日程・数字を練習する	書きながら暗記するように進行
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級1, 2、ワークブック、プリント、イラストとゴロで覚える韓国語				

科目名	韓国語(3) (韓国語Advance(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	徐慧精
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の社会や文化について学ぶ。						
到達目標	1) 適切なコミュニケーションができるようになる。 2) 韓国の社会や文化について理解を深める。 3) 意思を伝達することができるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、目標設定	自己紹介を書く。
2		講義・演習	初級Ⅱの復習をする。	プリントで練習する。
3		講義・演習	性格について	学んだ文法の練習をする。
4		講義・演習	発表会	発表した作文を直す。
5		講義・演習	TOPIK	TOPIKの練習する。
6		講義・演習	買い物をする。	作文をする。
7		講義・演習	発表会と会話	学んだ文法の練習をする。
8		講義・演習	手紙を書く。	作文をする。
9		講義・演習	-아/어 있다	学んだ文法の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	復習をする。
11		講義・演習	TOPIK	TOPIKの練習する。
12		講義・演習	-(으)ㄴ/는/(으)ㄹ 것 같다	学んだ文法の練習をする。
13		講義・演習	CDを聴く。	聴いて書く。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅱ & ワークブック、プリント。				

科目名	韓国語(3) (韓国語Opcional(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	徐慧精
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) ハングルの表記を覚える。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、目標設定	プリントで練習する。
2		講義・演習	基本母音を知る。	書く練習と発音の練習をする。
3		講義・演習	子音 + 母音 の組み合わせを読む。	書く練習と単語を覚える。
4		講義・演習	激音について	書く練習と発音の練習をする。
5		講義・演習	濃音について	書く練習と発音の練習をする。
6		講義・演習	バッチム	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
7		講義・演習	合成母音	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
8		講義・演習	発音の変化	発音の練習をする。
9		講義・演習	簡単な会話	会話の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	単語や簡単な会話を覚える。
11		講義・演習	-입니다 / -입니까?	文章を作る練習をする。
12		講義・演習	韓国語で自己紹介をする。	自己紹介を書く。
13		講義・演習	発表会と話し合い	聴いて書く。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅰ & ワークブック、プリント。				

科目名	韓国語(4) (韓国語Basic(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	李美姫
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習したり発表する						
到達目標	①韓国語で日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③韓国語に対して抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期試験80% 2) 出席数 10% 3) 態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	勉強したいことを聞く・後期の目標設定	予習と復習することの大切さを話す
2		講義・演習	憧れの存在について話し合う	副教材を利用する
3		講義・演習	スポーツについて話し合う	プリント配布
4		講義・演習	感情・関係について話し合う	辞書・翻訳機の使い方を教える
5		講義・演習	旅行・行きたいところについて話し合う	ペアの相手と話し合う
6		講義・演習	最新ニュース、記事を学習する	調べて書いてきてもらう
7		講義・演習	身体・美容について学習する	ネット検索をしてもらって作文を書く
8		講義・演習	地理・国名について学習する	韓国の地理と世界について学習
9		講義・演習	天気・植物について学習する	テスト準備を呼びかける
10		講義・演習	定期試験	試験前に復習を行う
11		講義・演習	季節・気分について学習する	前に出て発表してもらう
12		講義・演習	トレーニング・運動について学習する	ペアを組んで練習する
13		講義・演習	乗り物・歴史について学習する	1年を振り返る
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級1, 2、ワークブック、プリント、イラストとゴロで覚える韓国語				

科目名	韓国語(4) (韓国語Entry(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	李美姫
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習したり発表する						
到達目標	①韓国語で日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③韓国語に対して抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期試験80% 2) 出席数 10% 3) 態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	勉強したいことを聞く・後期の目標設定	予習と復習することの大切さを話す
2		講義・演習	憧れの存在について話し合う	副教材を利用する
3		講義・演習	スポーツについて話し合う	プリント配布
4		講義・演習	感情・関係について話し合う	辞書・翻訳機の使い方を教える
5		講義・演習	旅行・行きたいところについて話し合う	ペアの相手と話し合う
6		講義・演習	最新ニュース、記事を学習する	調べて書いてきてもらう
7		講義・演習	身体・美容について学習する	ネット検索をしてもらって作文を書く
8		講義・演習	地理・国名について学習する	韓国の地理と世界について学習
9		講義・演習	天気・植物について学習する	テスト準備を呼びかける
10		講義・演習	定期試験	試験前に復習を行う
11		講義・演習	季節・気分について学習する	前に出て発表してもらう
12		講義・演習	トレーニング・運動について学習する	ペアを組んで練習する
13		講義・演習	乗り物・歴史について学習する	1年を振り返る
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級1, 2、ワークブック、プリント、イラストとゴロで覚える韓国語				

科目名	韓国語(4) (韓国語Advance(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	徐慧精
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の社会や文化について学ぶ。						
到達目標	1) 適切なコミュニケーションができるようになる。 2) 韓国の社会や文化について理解を深める。 3) 意思を伝達することができるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習をする。	復習する。
2		講義・演習	TOPIK	TOPIKの練習する。
3		講義・演習	설날とお正月	長文の作文をする。
4		講義・演習	韓国と日本の違い	会話の練習をする。
5		講義・演習	TOPIK	TOPIKの練習する。
6		講義・演習	집들이について	招待状を書く。
7		講義・演習	CDを聞く。	聴いて書く。
8		講義・演習	学生としての生活について	長文の作文をする。
9		講義・演習	キーボードの使い方	ハングルでメールを送る。
10		講義・演習	定期試験	復習をする。
11		講義・演習	最新のニュース	ニュースの内容を書く。
12		講義・演習	自分将来について	夢の作文
13		講義・演習	一年間の振り返り	意思表示をする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅱ & ワークブック、プリント。				

科目名	韓国語(4) (韓国語Opcional(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	徐慧精
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習をする。	プリントでの復習。
2		講義・演習	-이 / 가 아닙니다.	否定文の練習をする。
3		講義・演習	職業について	会話の練習をする。
4		講義・演習	部屋の中を観察してみよう。	新しい単語を学ぶ。
5		講義・演習	簡単な質問ができる。	相手の話を聞いて返答をする。
6		講義・演習	家族関係が分かる。	文章を作る。授業内容の復習をする。
7		講義・演習	地名や場所名を覚える。	プリントで単語を覚える。
8		講義・演習	約束について会話する。	会話の練習をする。
9		講義・演習	位置に関する説明ができる。	作文の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	復習をする。
11		講義・演習	動画をみて見よう。	聴いて書く練習をする。
12		講義・演習	学んだ単語を確認しよう。	学んだ単語の復習をする。
13		講義・演習	一年間を振り返る。	会話の練習をする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅰ & ワークブック、プリント。				

科目名	Global Communication (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	be 動詞 (am, are) を使って自己紹介 (国籍や出身) する、または出身地を尋ねる会話を練習、疑問代名詞 [What] を使って、自分の個人情報 を相手に伝え、また相手の情報を聞く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	ホテルにチェックインする際の会話を練習する、個人的な経歴等のプロ フィールを読む・書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」 ・ 前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	be動詞を使って、家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、 友達や家族について説明する		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	年齢や誕生日について聞く、話す、写真に写っている友達のことにつ いて話す、友達についての紹介文を書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較 する」 ・ 前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	名詞の所有を表す[s] と [s] を使って、自分の家について話す、[it is] を使っ て、家具について話す、		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する、分からな い単語について質問する、ホームシェアについてのEメールのやり取り を読む、または、そのEメールを書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「好きな音楽について」 ・ 前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	一般動詞「現在形」を使って、お気に入りの物について話す、一般動 詞の「現在形」の疑問文を使って、どのようにテクノロジーを使用し ているのかを話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	コミュニケーション手段について話す、相手の話を聞いていることを示す、商品 のレビューを読む、書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「異なる週の活動について比較する」 ・ 前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	「現在形」肯定文、否定文を使って、平日、週末の行動について話す、 「現在形」疑問文を使って、時間・自分のルーティン(日課)について話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する、 自分の行動についてのレポートを読む、書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak: 前期発表		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】					
EVOLVE 2					

科目名	Global Communication (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「現在進行形」肯定文を使って、家事や自宅での行動について話す 「現在進行形」疑問文を使って、旅行について質問する、または答える	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	電話で情報を共有する会話を練習する、今起こっていることについてのブログを読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	[Can / Can' t] (能力) を使って、自分の能力や才能について話す [Can / Can' t] (可能性) を使って、職場や学校でできること、できないことについて話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する、インターネット上で自分の考えをコメントする	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	[this] と [these] を使って、休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to] を使って、旅行計画を立てる	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する場所についての説明を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	[be going to] を使って、週末のアウトドア（野外）プランについて話す、[be going to]（疑問文）を使って、異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する オンラインでの招待状を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画する」・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す、be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、記憶にある色について話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	自分の記憶を表現し、映画、俳優について話す 過去の思い出として保管している物についてEメールを書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak:後期発表	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 2				

科目名	日本語講座 (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神田智子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職・デビュー活動に必要な日本語能力を養います。 * 前期は、日本の就職活動の概要理解、業界・企業・職種研究、企業担当者やOB・OG訪問、インターンシップ準備などを行い、日本で働くことをイメージできるようにします。また日本語能力試験の対策を行います。 * 後期は、日本語能力試験対策及び、就職・デビューに関わる面接対策等を行います。						
到達目標	日本国内での就職・デビュー活動に必要な日本語能力を養います。 * 前期は、日本の就職活動の概要理解、業界・企業・職種研究、企業担当者やOB・OG訪問、インターンシップ準備などを行い、日本で働くことをイメージできるようにします。また日本語能力試験の対策を行います。 * 後期は、日本語能力試験対策及び、就職・デビューに関わる面接対策等を行います。						
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)と前期・後期末試験について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	日本の就職・デビュー活動の概要	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
2		講義・演習	履歴書①基本情報の書き方	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
3		講義・演習	業界研究 調査①	業界の自主研究及び資料作成
4		講義・演習	業界研究 調査②	業界の自主研究及び資料作成
5		講義・演習	企業研究 調査① 好きなアーティストの所属先	企業の自主研究及び資料作成
6		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	企業の自主研究及び資料作成
7		講義・演習	N1の試験についての心構え～ 例題①	〈課題〉資料作成
8		講義・演習	レベルチェックテスト(20～30分) テスト答え合わせ解説 N1 状況状態に関する語彙	建前、矛盾 チームワークなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
9		講義・演習	N1文法 導入文型 ～とあって、～ならでは、～にもまして、～からして 例文作成、会話練習 N1語彙 人を見て思う感情表現語彙	あさましい めざましい 根拠り業掘りなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
10		講義・演習	N1文法 導入文型 ～を余儀なくされる ～たりとも ～きらいがある ～あっての 例文作成会話練習 N1相手を気遣う語彙	あいにく 何気ない 独自の などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
11		講義・演習	N1文法 導入文型 ～をよそに ～なりに ～ないでもない ～すら～なかった 例文作成、会話練習 N1困惑する感情の語彙 実践問題	不審な 閉口する 反発する などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
12		講義・演習	N1文法 導入文型 文法～とは(驚き)～がはやいか ～そばから ～ずにはおかない 例文作成、会話練習 N1時間 時期の語彙 。夏休みに向けて	適宜、時折 古参の などの語彙を使う状況を挙げ例文作成 読解問題宿題。夏休み課題の取り組み
13		講義・演習	振り返り。N1 試験について	夏休み課題の復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
『外国人留学生のための就活ガイド』				

科目名	日本語講座 (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神田智子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職に有利なJLPTN1取得を目標とし、特に出題されやすい接続詞を抜粋して導入、定着を目指す。併せてすべての基礎となる語彙力向上も目標とする またN1レベルの文法や語彙の使い分けも身につける * 講習ごとに語彙テストを行い、また「使える」語彙力を前提に積極的に会話練習を行う * わかりやすく導入するために例文提示と例文作成を行う						
到達目標	1. JLPTN1合格を目指す 2. 正しい接続詞の使い方を学び、実際に使えるようにする 3. 実際に使える語彙を増やす 読める漢字を増やす						
評価方法と基準	1・前期 期末試験の得点 2・N1レベル文法の習得度 N1レベル語彙の実践問題 正解率 3・出席率 授業態度 以上を基準として総合的に評価する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	N1文法 導入文型 ～ともなく ～もさることながら ～に即した ～をにおいて他にない 例文作成、会話練習 N1相手に対応する語彙	報いる 用心する 勘違い などの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
2		講義・演習	N1文法 導入文型 ～までもなく ～いかな ～とは言えないまでも ～とい～とい～ 例文作成、会話練習 N1将来未来の語彙	果てしなく 遠からず 粘り強く などの語彙を使う状況を考え 例文作成 読解問題宿題
3		講義・演習	N1文法 導入文型～のをいいことに ～にもほどがある ～ならまだしも ～以前の 例文作成、会話練習 N1物に働きかける語彙	活性化 正常化 目に見えて などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
4		講義・演習	N1文法 導入文型 ～たら～たで ～ようものなら ～ならいざしらず ～にこしたことはない 例文作成、会話練習 N1経済の語彙	不況 不振 盛況などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
5		講義・演習	N1文法 導入文型～とはいえ ～といったところだ ～に～ない ～にかこつけて 例文作成、会話練習 N1仕事の語彙	打ち込んでいる 立て込んでいる 乗り切る などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
6		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 語彙	文法例文作成 + 読解問題宿題
7		講義・演習	N1模擬試験問題 語彙 漢字	語彙例文作成 + 読解問題宿題
8		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 漢字	文法例文作成 + 読解問題宿題
9		講義・演習	N1試験対策	レポート提出
10		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	レポート提出
11		講義・演習	インターンシップ② プロフィールシート作成	〈課題〉資料作成
12		講義・演習	企業に入ってからのこと。OB OGIに聞きたいこと。	レポート提出
13		講義・演習	1年のまとめをプレゼンテーションする。	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
『外国人留学生のための就活ガイド』				